

本町自治会

福祉委員人数	10人	世帯数	115
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員
(対象者数 11人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の
情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・H28.6.18 第1回福祉委員会議

28年度地域ネットワーク事業の概要説明及び要支援世帯の把握、地域区割を行い担当委員を決め、情報交換をした。

- ・H28.12.3 第2回福祉委員会議

28年度除雪支援世帯の確認、独居高齢者へのお餅配り(12/7)の確認。28年度小地域福祉活動研修会(11/9)参加委員から報告、説明。75歳以上の高齢者(47名)に対して、救急カードの再点検の実施を決定。

- ・H29.3.31 第3回福祉委員会議

救急カードの再点検及び除雪支援の結果報告並びに28年度事業の反省と課題の検討。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

各委員の担当地域が決まり、要支援世帯に対する見守り、声かけ、支援がスムーズにできた。

町内会員に福祉委員の活動を理解してもらえ、地域会員の方から情報を頂けることもありました。救急カードの再点検を行い、カードの理解を深めるとともに高齢者世帯の状況を再確認できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 福祉マップ更新、救急カード確認
- 対象者 全世帯

●目的 町内世帯の把握

●実施事業

- ・福祉マップの更新

一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に対する担当福祉委員の色分けマップの更新。

- ・救急カードの確認

福祉委員が担当地域の対象世帯を訪問し、救急カードの確認を行った。特に高齢者世帯については、カードの意義を周知しながら、記入内容の点検、再確認を行った。

●事業成果

訪問によるカード確認により、安否確認ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回

- 対象者 町内会員・高齢者・子ども

- 目的 地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあい盆踊り大会

H28.8.12(金)・13日(土) 町内会館横空地。

2日間で110人参加。子供達、高齢者を含む町内会員の参加で盆踊り大会を行う。

女性部自慢の手料理に舌鼓、子供達も夏休みに練習した太鼓を元気に叩き、おじいちゃん・おばあちゃんも孫達と踊り、夏の夜の楽しいひと時を過ごしました。

- ・ふれあい餅つき大会

H27.12.17(日) 町内会館(80人参加)。

子どもたちを招き餅つき大会を行う。お雑煮をはじめ、餅料理に満腹。楽しい交流ができました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・その他(千歳小学校子ども会)

●事業成果

参加者の交流により繋がりもでき、情報も得ることができ、安否確認ができました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯（対象者数 47 人）

●目的 見守り・声かけ活動で安否確認

●実施事業

1. 見守り、声かけ活動

一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に担当福祉委員が声かけ訪問を行い、安否確認をしました。

2. お餅等のお届け活動

ふれあい餅つき大会に併せ、千歳小学校仲良し会の役員等の協力を得て、ひとり暮らし高齢者世帯 8 世帯につきたてのお餅とお土産を届けた。この活動は 12 年間継続している。

3. 敬老記念品の配付（本町自治会の単独事業）

敬老の日に自治会長、副会長、福祉部役員で 75 歳以上の高齢者のいる会員宅を訪問し、敬老祝い品をお届けし、併せて安否確認や生活状況の把握を行った（対象：34 世帯 45 人）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・その他（千歳小学校仲良し会）

●事業成果

一時ではあるが、ひとり暮らし高齢者の方と子どもたちの交流ができました。子どもの訪問には、高齢者の笑顔が違いました。

本町南自治会

福祉委員人数	7 人	世帯数	370
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数 10 人）
- 目的 福祉委員活動における委員間の

●実施事業

- ・自治会役員、福祉委員、民生児童委員による各種事業の運営会議を実施した。
- ・情報交換により、ひとり暮らし高齢者の日常的な見守りや定期的な声かけ訪問、救急カードの確認等、高齢者や障がい者の現状について検討会議を行った。
- ・自治会秋祭り親睦会に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉委員、民生児童委員との連携強化に繋がり、福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5 回
- 対象者 自治会会員・60 歳以上の高齢者
- 目的 近隣関係を深めて、交流の輪を広める。孤立しない、引きこもり防止を図る

●実施事業

- ・ひとり暮らし、老人世帯等を対象に一泊旅行（10 月／参加者 35 名）

温泉で会員同士のおしゃべりから近隣の現状把握につなげ、孤立しがちな高齢者との交流を図った。

- ・茶話会（9・11・2・3 月 参加者 44 名）

お年寄りに声をかけて会員同士が気軽に集う場所として、茶話会を実施した。（年 4 回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

楽しいひと時を過ごす中で会員同士の輪が広がった。また茶話会は会員が気軽に集うことができ高齢者に好評だった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 9月（年1回）
- 対象者 自治会員・70歳以上の高齢者（対象者数27人）
- 目的 近隣関係を深めて、高齢者との交流の輪を広める。
- 実施事業
 - ・ひとり暮らし、老人世帯、昼間独居者など70歳以上の高齢者世帯を訪問。長寿祝いと健康状態等を確認した。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果 対象者宅を訪問し、健康状態等を最確認することができた。

朝日町西自治会

福祉委員人数	9人	世帯数	220
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員（対象者数10人）
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換
- 実施事業
 - ・福祉委員会 福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有。3ヶ月に1回実施
 - ・福祉懇談会 町内会役員全員と懇談し、見守り・支援についての意見交換
- 連携・協力機関及び団体 民生児童委員・老人クラブ
- 事業成果 福祉委員同士及び民生児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年26回
- 対象者 高齢者・子ども・会員（対象者数120人）
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン おしゃべり、レクリエーション、健康体操、カラオケ等 回数20回（毎月第1・3木曜日）
 - ・朝日町西町内会夏祭り 子どもたちの夏休みに合わせて高齢者と子ども、会員との交流会を実施。
 - ・ふれあい日帰り旅行 果物狩り、温泉施設の利用 回数年1回
 - ・誕生会 3ヵ月に1回開催して高齢者同士の交流と親睦を図る。
 - ・女性部日帰り研修 年に一度、施設見学をし見聞を広げる。
- 事業成果 ひとり暮らしの高齢者の安否確認、心配ごとの把握につながった。 高齢者の閉じこもり防止に繋がりました。 参加者同士の交流により近隣がつながりました。

朝日町東自治会

福祉委員人数	4人	世帯数	70
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 9回
- 対象者 町内会役員・民生委員児童委員・福祉委員
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換、各研修会のお知らせ
- 実施事業
 - ・福祉委員会 福祉活動の話し合いと見守り世帯の情報交

換を行った。町内会サロンの反省と今後のサロン内容の打ち合わせを行った。

- ・「町内会サロン」の回覧作成・配布

4月～12月 翌年3月（8月は除く）

- ・小地域福祉活動研修会に参加

備えてますか？救急カード～救急時に必要なことって～

- ・出前講座「災害が起きた時のために」実施

●事業成果

町内会の役員同士とてもいろいろな面で協力して頂きました。サロン、訪問等とてもスムーズに行きました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者（町内会員のみ）

- 目的 対象者の状況を調べる

●実施事業

- ・平成28年度対象者会員の名簿を作成
- ・新会員の方へ救急カードを配布、又、救急カードを備えていますかと声かけをいたしました。

●事業成果

名簿作成により訪問、声かけが円滑に行われました。又、災害時に名簿が役立つことが分かった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 9回

- 対象者 町内会会員

- 目的 会員同士の交流、親睦、閉じこもり防止

●実施事業

- ・会館開放サロン
内容～茶話会・食事会・カラオケ・アレンジ花手芸等実施いたしました。

回数～9回（8月・1月・2月は除く）毎月20日に実施しました。

時間～午後1：00～午後3：00

- ・サロンの1つですが、お餅つきには、4歳から

高齢者まで参加して頂きました。

●事業成果

参加者同士の交流ができ、楽しく過ごせたと思っています。特に食事会には多数の方が出席してくださいました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者

- 目的 地域の支え合い、安否確認

●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動

月1回を目標に対象者宅の訪問を行い、安否確認を実施いたしました。

- ・3月のひな祭り

うぐいす餅、桜餅を対象者の女子に配付

- ・5月の節句

べこ餅、かしわ餅を対象者の男子に配付

●事業成果

地域の会員さんにも見守り、安否確認に協力して頂きました。

真々地自治会

福祉委員人数	13人	世帯数	510
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 18回

- 対象者 町内会役員、福祉委員

- 目的 地域での活動、連帯意識

●実施事業

- ・福祉委員会（7回）

- ・研修会への参加（3回）

- ・各事業への周知、敬老会、ふれあいサロン（8回）

●事業成果

- ・ふれあいサロンへの周知が不足、もっとアピールする。結果案内する。（写真入り報告書）

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 17 回
- 対象者 町内会員・高齢者
- 目的 地域のつながり
- 実施事業
 - ・ままち敬老会（対象者 64 名、出席者 30 名、役員招待者計 42 名）
折詰・オードブル・手作り料理、賀寿者に花束・記念品、余興。千歳市芸能奉仕団・日本舞踊・カラオケ。
 - ・ままちふれあいサロン（4 回延参加人数 64 名）
いきいき百歳体操他。
 - ・誕生日お便り（12 回（毎月）64 名）
- 事業成果
ままちふれあいサロンはお手伝い、参加者の人数集めが必要。

若草町内会

福祉委員人数	24 人	世帯数	825
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 18 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 50 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・活動の向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（6 回）
町内を 5 ブロックに分け、民生委員児童委員を中心に“知る”“知らせる”等の活動を定期的に実施し、その結果を委員会で情報共有を図った。
 - ・研修会の参加
新任福祉委員、現任福祉委員研修会に参加した。
 - ・救急カードの更新（随時）
全住民を対象に配布した救急カードを、その

情報が近況情報になっているかどうか更新日や内容の啓蒙活動を随時行った。

- 連携・協力機関及び団体
役員
- 事業成果

民生委員児童委員と福祉委員との連携が強化され、研修会では新情報を収集し、旧カードの啓蒙活動で住民との対話が強化された。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対象者 町内会住民
- 目的 世代間を通じた交流や 75 歳以上の高齢者との親睦を図る
- 実施事業
 - ・敬老会（75 歳以上高齢者 234 名）
参加者全員で合唱など行い、近況情報を語らい高齢者同士や役員との親睦を図った。サックス演奏会なども行った。
 - ・餅つき大会（参加者 113 名）
40 kg のもち米を参加者でつき、納豆餅、大根おろし餅などで、町民との親睦を図った
独居老人やグループホームに赤飯を配布。
 - ・ひな人形の展示
町内会員から寄付を受けた「ひな人形」を町内会館に展示し、ふれあい交流を図った。
- 連携・協力機関及び団体
役員
- 事業成果
参加者同士や町内会員との交流が深まり、近隣同士のつながりの一助や高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 延 725 回
- 対象者 除雪・避難困難者
- 目的 近隣同士のつながりや孤立防止を図るための支え合いの地域づくりを目指す

●実施事業

- ・除雪支援（要支援者 29 世帯）

除雪困難世帯を対象に町内会員による除雪支援を実施した。

（ボランティア 34 人、派遣延 844 人）

- ・災害時要援護者避難支援活動（対象者 24 名）
支援活動の実施方法など検討中。

●連携・協力機関及び団体

役員

●事業成果

近隣同士のつながりの一助や高齢者の閉じこもり防止につながった。

里美町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	324
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回（4・6・8・10・11・1 月）
- 対象者 町内会長・民生児童委員・福祉委員（対象者数 16 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（年 6 回）（4・6・8・10・11・1 月）
福祉委員活動の協議・検討及び見守り世帯（名簿）等に関する情報交換、課題の共有を行った。
 - ・「福祉だより」の発行（年 2 回 5・11 月）
5 月：福祉委員・民生児童委員紹介ほか
11 月：交流懇親会の開催（10/16）イベント内容ほか。
 - ・福祉研修会への参加
社協主催の研修会に参加した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員同士及び民生児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者 70 歳以上
（対象者数 140 人）
- 目的 世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿作成・更新（65 歳以上）
今後の高齢者を把握するため 65 歳以上の方も把握し、同時に名簿作成を実施している。
また、必要に応じて見守り・声かけを行った。
- 事業成果
高齢者と委員との交流ができ、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1 回
- 対象者 70 歳以上及び役員
（参加人数 53 人）
- 目的 町内に居住する高齢者が交流、親睦を深め合い、心を通わせ合う場とする
- 実施事業
 - ・交流懇親会（1 回 10/16）
イベントでは千歳市内北斗中学校リコーダー部の演奏・ビンゴゲームなど
- 連携・協力機関及び団体
北斗中学校リコーダー部
- 事業成果
北斗中学校リコーダー部の演奏（リコーダーの奥深さ・若いエネルギー・演出もこつてり、喜ばれました。）

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて
- 対象者 高齢者（対象者 140 人）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる
- 実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動
- ・ひとり暮らし高齢者へのお赤飯配布（12/4）
町内会の餅つきに合わせ、お赤飯を配布した。
- ・75歳以上対象に救急カード取組
新75歳以上の高齢者へ配布し、また、すでに配布済の高齢者へは、カード内容に変更がないかなどプリント配布と説明を行った。
- ・除雪支援活動(12/1～3/31)

民生委員の調査と同時に町内会支援協力者（ボランティア）を回覧にて募集 後11月に会議を開き要支援世帯ごとに近隣で担当体制を組み支援を実施。但し3丁目だけボランティア2名要支援世帯4件だったので企業ボランティアに依頼。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安心して生活できる環境づくりに少しでも役に立つことができた。



白樺町内会

福祉委員人数	23人	世帯数	591
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員・地域包括支援センター長（対象者数27人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の

情報交換及び資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会例会（月1回）
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

福祉委員及び民生委員、地域包括支援センター長との連携強化につながり、福祉活動が円滑に進められた。また、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数150人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

- ・要支援世帯台帳の更新
日頃支援を要する高齢世帯や障がい者世帯の状況把握を行った。
- ・福祉マップの更新
日頃の見守りや非常時に備えた福祉マップの更新を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所・地域包括支援センター

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、訪問等が円滑に行われた。災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 15回
- 対象者 高齢者・障がい者・子育て中の方（対象者数250人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
つながりづくり
- 実施事業

- ・ふれあいサロン（月1回）
おしゃべり、歌唱等を行った。また、市の出前講座を活用した。
- ・くだもの狩り（1回）
福祉バスを利用してくだもの狩りを行った。
- ・お楽しみ交流会（2回）
夏：子どもみこしに合わせて高齢者との交流会（焼肉）を行った。
冬：餅つきとレクレーションを行った。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認、健康・心配ごとの把握につながった。また、高齢者の閉じこもり防止のもつながり、参加者同士の交流も深まった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 250 人)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる。

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者世帯等に対して日常的な見守り、声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- ・ひとり暮らし高齢者にクリスマスプレゼント・年末プレゼントを配布し安否確認等を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

生活上の困りごとに対する相談や安心して生活できる環境づくりにつながった。

柏陽町内会

福祉委員人数	22 人	世帯数	440
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 15 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会長、福祉部
(対象者数 22 人)
- 目的 情報交換、共有。事業計画実施要領の確認等、資質向上
- ・福祉委員会及び事務局会議（2 ヶ月に 1 回）
委員間における情報交換と共通認識確認。活動の計画・分担等を行った。
- ・「福祉だより」発行
福祉委員・民生委員児童委員の周知とサロン活動等の案内をした。
- ・福祉施設見学

グループホーム「桜香」（伊達市）見学

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会・民生委員・福祉委員の情報交換で連携強化につなげる。施設見学は、各自の意識の向上のために継続していきたい。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75 歳以上高齢者・70 歳以上ひとり世帯（対象者数 120 人）
- 目的 高齢者世帯、見守り必要世帯の現状把握

●実施事業

- ・高齢者・ひとり世帯名簿の作成(更新)
現状把握に努め、見守り・声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会役会

●事業成果

高齢者世帯は変化が多いので、町内会・民生委

員と連携することが大切である。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会全世帯(対象者数440世帯)
- 目的 地域の親睦・交流、高齢者の孤立防止。
- 実施事業
 - ・サロン活動（6回）
町内会館を開放し、手芸、百歳体操、出前講座などを行い、福祉委員も参加し交流している。
 - ・日帰りバス旅行（1回）
果物狩り
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
サロン活動は定着してきたが、参加者が固定化してきているので、年齢層を広げたい。
日帰りバス旅行は好評なので継続していきたい。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75歳以上高齢者・70歳以上ひとり世帯（対象者数120人）
- 目的 現状把握、地域の支え合い
- 実施事業
 - ・見守り・声かけ活動
日常的に見守り・声かけを意識し、孤立防止につとめている。
 - ・対象世帯へ粗品配布
年末に福祉委員が、各自担当班の高齢者宅へ粗品を持って訪問活動している。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・町内会役員
- 事業成果
高齢者世帯は毎年増加するので、訪問活動で安否確認、生活状況を把握し、町内会・民生委員と連携し何かあれば、すぐに繋げていける体制作りを目指している。

文京町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	573
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
- 目的 福祉委員間の情報・意見交換
- 実施事業
 - ・福祉委員会（6回）
福祉活動の進め方や問題点の確認。見守り世帯に関する情報交換
 - ・各種研修会等出席（6回）
福祉に関する知識の向上が図れた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・地域包括支援センター
- 事業成果
地域包括支援センターとの連携により、福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会員・高齢者
- 目的 要支援世帯の把握
- 実施事業
 - ・救急カードの更新
救急カードの必要性を説明するとともに、高齢者の見守りや声かけを行った。
 - ・福祉マップの作成
救急カードの説明時や町内会行事、福祉部行事等を通じて情報を集めた。継続して調査を実施する。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ。
- 事業成果
見守り活動だけでなく、平常時や災害時の対応にも活用できる

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 50 回
- 対象者 高齢者・町内会員
- 目的 町内会員の交流・親睦を通じての仲間づくり

●実施事業

- ・介護予防サロン(ぶんぶん健康サロン)(43 回)
町内会館で、生き生き百歳体操など健康運動を行い、お茶菓子を食べながら親睦を深めた。
- ・交流サロン（3 回）
講習会を企画し、町内会員の親睦を深めた
- ・町内会主催行事の支援
夏まつり、敬老茶話会、秋の大掃除、年末餅つき（4 回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

介護予防サロンでは、高齢者の閉じこもり防止の一助となった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者
- 目的 地域の支え合いを通して相互理解を深め、孤立防止につなげる。

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動
救急カードの更新活動を通じて、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

訪問時に話しをすることにより、近況を把握することができた。

錦町 3 丁目町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	14
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
- 目的 福祉委員と役員との合同会議
- 実施事業
・町内会員と福祉委員、民生委員との情報交換

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数：6 人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
・状況把握
日常的な支援が必要な高齢者の状況を把握する。また、回覧板等の配布の際に対象者の健康状態や近況を伺い確認した。町内会行事の案内をし必ず声かけをした。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対象者 町内会全員、高齢者
(対象者数 45 人)
- 目的 町内会会員の親睦を図る
- 実施事業
・親睦交流
1 月：新年交礼会及び総会を実施した。
5 月：観桜会を町内会館で実施した。
10 月：観楓会を町内会館で実施した。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11 月～3 月
- 対象者 高齢者世帯
- 目的 冬期間の除雪及び排雪の支援

●実施事業

- ・高齢者世帯の除雪、排雪の支援
- ・除排雪時に健康状態や近況を聞いた。

●事業成果

28年度は前半雪が多く大変だったが、後半は少なめで助かった。

清水町 3 丁目町内会

福祉委員人数	2 人	世帯数	40
--------	-----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内在住者（対象者数 40 人）

●目的 町内清掃後の食事・懇談、地域のつながりづくり

●実施事業

- ・清掃

歩道、空き地ほか町内一円の清掃後に食事・懇談を実施した。

●事業成果

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 3 回

●対象者 ひとり暮らし高齢者
（対象者数 3 人）

●目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・声かけ訪問活動

声かけをして暮らしに変わりないか確かめた。

- ・ひとり暮らし高齢者への長寿祝い品配付

長寿祝い品を届け、安否確認、生活状況等の把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。

清水町 5 丁目町内会

福祉委員人数	1 人	世帯数	35
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 3 回

●対象者 町内会役員（対象者数 11 人）

●目的 町内の福祉活動情報の共有化

●実施事業

- ・役員会

町内役員会において、高齢者世帯等の状況の把握をはじめ、福祉活動についての情報交換等を行い、認識を共有する。

●事業成果

町内会役員が情報を共有化することにより、個人情報に配慮しながら、高齢者等の支援が図られた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3 回

●対象者 町内会全員（対象者数 36 世帯）

●目的 会員相互の親睦と交流

●実施事業

- ・親睦バーベキュー

町内の広場でバーベキューを行い、高齢者から幼児まで幅広い層の人々との親睦とコミュニケーションの場となっている。

- ・忘年会

一年の締めくくりに忘年会を開催し、ゲームやカラオケ等を行い、楽しい時間を過ごし会員相互の親睦と交流を図った。

- ・茶話会

気楽におしゃべりをする場として情報とコ

コミュニケーションを図る。

●事業成果

町内会全体での交流活動は、地域の連携と絆が一層強くなる良い機会となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者

●目的 ひとり暮らし高齢者等の安否確認とコミュニケーションを図る

●実施事業

・訪問活動

ひとり暮らし高齢者を訪問し、面談のうえ安否確認と状況把握を行った。

・声かけ、見守り活動

日頃から近くの役員による声かけ、見守りを実施した。

●事業成果

面談をすることで健康状態や生活状況を把握することができ、コミュニケーションが図られた。

幸町連合会

福祉委員人数	5人	世帯数	202
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 20名)

●目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会（月に1回）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・福祉だよりの発行（2カ月に一回発行）

福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉イ

ベントの案内、振り込め詐欺や悪徳商法に関する注意喚起の掲載を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり福祉委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 2回

●対象者 町内会長・福祉委員民生委員
(対象者数 12人)

●目的 福祉委員活動における委員間の情報交換、共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。(6か月一回)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員との連携強化に繋がり地域福祉活動が円滑に進められました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 高齢者・障がい者、子供
(対象者数 40人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン（2カ月に1回）

おしゃべり、食事会、レクリエーション、健康体操、カラオケ等。

・ひとり暮らし高齢者との昼食会（年1回）

ゲーム、余興、食事などを行った。

・お楽しみ交流会（年2回）

子どもたちの夏・冬休みに合わせて高齢者との交流会を実施。夏はバーベキュー、ゲーム、レクリエーション、冬は餅つき等を実施した。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。参加者同士の交流により、つながりづくりにつながった。高齢者の閉じこもり防止にもつながった。

栄町西区町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	210
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して開催

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数73人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・世帯カードの更新を実施し、要介護者等について最新の情報を得た。
- ・救急カードの更新については実施できなかったため、次年度実施する。

●事業成果

調査活動については理解されたと思われるが、個人情報情報を他人に託すことにためらいを感じる会員がいるので、引き続き訪問活動を通じて更なるPRに繋げていきたい。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 75歳以上の高齢者（対象120人）

●目的 高齢者を囲んでの食事会、懇親会の実施

●実施事業

- ・9月27日に町内会主催の敬老会を実施して75歳以上の高齢者を招待し（参加者42名）町内会の女性役員、福祉委員による手作り料理でお祝いした。
- ・12月8日に一人暮らし高齢者等のふれあい昼食会を実施し（参加者27名）、招待された高齢者に対し女性役員、福祉委員らによる愛情たっぷりの手料理を満喫していただいた。
- ・さくら会（福祉部）による出前講座・座談会を実施し、高齢者の方々には非日常に接し、楽しい交流の時間を過ごしていただいた（年間2回実施、参加者述べ51名）

●事業成果

各種行事への参加に消極的な高齢者に根気よく参加を呼びかけ、多くの高齢者の方々が参加して下さった。また、昨年に引き続き老人クラブへの加入にもつながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 必要に応じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数16人）

●目的 地域における生活弱者を支え、支えあい支援する

●実施事業

- ・要支援者の近隣町内会の協力を得ながら除雪困難な住民に対して、除雪支援を実施し、安心して、冬期間が生活できる手助けを実施。
要支援世帯：6世帯・支援人員：12名
- ・福祉マップの修正及び災害時における避難経路の点検、指定避難場所の再確認を実施した。

栄町東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回
- 対象者 70歳以上の方（対象者41人）
- 目的 高齢者の実態把握
- 実施事業
 - ・9月の敬老の日に合わせて、対象者宅を全軒訪問し、面接を行っている。（1週間程を用いた）
- 連携・協力機関及び団体
 - 会長。
- 事業成果
 - 今年も全員に会うことができ、大変嬉しい活動でした。

最新の福祉情報入手及び町内会員への普及

- 実施事業
 - ・福祉委員会
 - 福祉活動の協議・検討及び避難行動要支援者（要見守り世帯）等に関する情報交換、課題の共有を行った。
 - ・福祉研修会・講習会等への参加
 - 地域福祉ネットワーク・小地域福祉活動研修会・なかよしさわやかDAYはじめシンポジウム講習会・地域福祉フォーラム・男女共同参画環境づくりセミナー
- 連携・協力機関及び団体
 - 民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所
- 事業成果
 - ・福祉関係者の連携を強化し、地域福祉活動を円滑に進めることができた。
 - ・各種研修会・講習会等に参加することにより福祉関係者の識能が向上し、福祉活動に対する関心を高めることができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 高齢者・子供（親）
（対象者数30人）
- 目的 相互に親交を深め、孤独感の解消
- 実施事業
 - ・町内会行事と併せて、百歳体操を実施し、健康増進を図りました。
 - ・会館内において、ビデオ視聴をし、会員同士の連帯感意識の醸成を図りました。
- 事業成果
 - 高齢化が進み健康上会館へ足を運ぶことが厳しくなってきましたが、声掛けや家庭訪問を続けることで、良い方向に導かれていることを実感しました。

春日町2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	285
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者24人）
- 目的 福祉委員及び役員間の情報交換共有並びに識能向上

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者及び障がい者
（対象者数55人）
- 目的 福祉活動対象者の基礎資料整備
要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・70歳以上高齢者及び障がい者の現状把握（更新）
 - 要支援者を把握するため現状を調査して福祉活動の基礎資料とした。
 - ・避難行動要支援者及び支援者の確認
 - 支援が必要な高齢者・障がい者の状況を把握し、見守り・声掛けを行った。
 - ・救急カード設置・確認・更新・普及
 - 独居高齢者の救急カード設置確認・更新を行うとともに全会員への普及に努めた。
 - ・避難行動要支援者及び支援者の更新
 - 状況の変化に対応するための情報更新及び福祉活動体制の更新を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

- ・要支援世帯の状況把握と支援担当者の明示により、日常の見守りや声掛けが円滑に行われるようになった。支援担当者が要支援者を支援する体制を整えることができた。
- ・町内会の高齢者対策としての現状把握をおこし指針ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・大人・子供（幼児・中学生）（対象者数 161 人）

●目的 高齢者の孤立防止等と地域のつながりづくりのための町内会員相互の親睦と世代交流

●実施事業

- ・福祉バス旅行（参加者 28 人）
富良野美瑛方面に行き、町内会員同士の交流を深めた。高齢者も屋外活動の良い機会になった。
- ・餅つき大会（参加者 70 人）
高齢者・大人・子供の 3 世代が参加し、各種活動や食事会を通して世代間の交流が活発になり、高齢者の状況等の把握もできた。
- ・新年親睦会（参加者 60 人）
敬老の意味も込めて昼食会を行い町内会員の親睦を深めた。出席者の年齢も幅広く世代間の交流を深め、高齢者の状況把握にもなった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

- ・世代間の交流で町内会の結束が強くなり、福祉活動への理解も醸成された。
- ・高齢者の状況把握とともに福祉関係者の情報交換の機会になった。
- ・町内会員の活動が活発になり、高齢者への活動機会の提供にもなった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢独居世帯（対象者数 13 人）

●目的 地域の絆に基づき相互体制を強化して孤立防止を図る

●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動
高齢独居者等に対して日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認や情報把握に努めた。
- ・高齢者への餅等の配付
餅つき大会を欠席した高齢者に餅や赤飯を届けて現状把握を行った。
- ・高齢独居者への年末贈答品の贈呈
年末贈答品を持参し、状況把握や救急カードの確認を行った。
- ・高齢独居者への除雪支援
主に生活道路の除雪支援を行い、その際声かけ等で状況把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

- ・避難行動要支援者を主とした見守り・声かけで地域の互助体制が強化され、高齢者の孤立防止等が図れた。
- ・見守り・声かけによる状況把握で高齢者等が安心して生活できる環境が向上した。

春日町 3 丁目町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	91
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年 4 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数 12 人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会

町内会の役員会に合わせて、福祉活動の協議検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。毎期1回実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

- ・福祉委員同士及び民生委員児童委員との連帯強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められました。
- ・福祉活動に関する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながりました。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 18回

●対象者 高齢者・子ども・その他 (対象者数 250人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり 地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

町内集会室でお菓子や果物を食べながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～12回（毎月第2木曜日 13：00～15：00
実施、各回10名～15名参加、主として女性）

・夕方サロン

町内集会室で夕方にお酒を楽しみながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～4回（5月、8月、12月、2月 18：00～
20：00、各回10名程度参加、会費制、
主として男性）

・ふれあいパークゴルフ大会

指宿公園パークゴルフ場で大会、昼食会表彰式で会員の交流を図った。

回数～1回実施（9月、27名参加）

・町内餅つき大会

内容～春日東会館で餅つきを実施、ついた餅で
昼食会を行い会員の交流を図った。

回数～（11月、昼食会27名）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

- ・ひとり暮らし高齢者の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。
- ・参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながりました。
- ・高齢者の閉じこもり防止につながった。

春日町5丁目会

福祉委員人数	1人	世帯数	49
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年1～2回

●対象者 町内役員・福祉委員 (対象者数4～5人)

●目的 福祉委員活動における町内役員 間との情報交換

●実施事業

- ・福祉委員と町内役員との情報確認。
- ・町内会事業、会合等への準備、案内等打合せ。
- ・高齢者宅への安否確認。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

福祉委員、町内役員相互の情報共有ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年3～5回

●対象者 高齢者・町内役員 (対象者数18人)

●目的

●実施事業

- ・カラオケ交流、昼食会
カラオケ大会を開催し、一人ひとり食材を持ち寄り昼食会を実施した。

- ・お楽しみ交流

お花見、麻雀大会。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

各交流会で安否確認ができた。

高齢者が激減してパークゴルフなどができなくなった。

大和2丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	42
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者等（対象者数28人）

●目的 高齢者・ひとり暮らし高齢者の孤立防止及び健康状態等の把握

●実施事業

- ・町内レクリエーション事業（年1回）

食事会、年忘れビンゴ大会を実施した。

- ・新春の集い事業（年1回）

食事会、ゲーム等を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

会員（子どもも参加）との交流を通じ、対象者の方々の近況及び健康状態を再確認することができ、その再確認を基に、今後の高齢者の福祉対策の方向性の一助となった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者

●目的 高齢者の長寿の祝いと健康状態確認

●実施事業

- ・敬老会（9月1回）

75歳以上の高齢者（23名）へ記念品を贈呈。

- ・おせち配布事業（12月1回）

ひとり暮らし高齢者（5名）へ商品券を贈呈。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ。

●事業成果

対象者宅を訪問し、健康状態等を再確認することができた。

桂木1・2丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	143
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 9回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員（対象者数20人）

●目的 福祉活動における役員間の情報の共有と資質向上

- ・福祉委員会及び福祉活動に関する会議の開催

福祉活動の協議・検討および見守り世帯等の情報交換と課題の共有を図った。（2カ月に1回）

- ・福祉研修会への参加

地域福祉勉強会、地域福祉フォーラム、福祉委員研修会、地域福祉ネットワーク会議等へ参加。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所。

●事業成果

福祉委員同士のみならず、町内会役員、民生委員との連携が強化され地域福祉活動が円滑に且つ積極的に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

- 対象者 高齢者・子ども（対象者数 120 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり及び世代間交流

●実施事業

- ・生き生きサロンの開催
食事会、パン作り、手打ちうどん、ジェルキヤンドル作り、ちぎり絵講習、認知症防止脳トレ等。
- ・お楽しみ交流会（餅つき大会）
高齢者と子供、親世代などの交流会を行った。
コマ回し・ゲーム等

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・市役所

●事業成果

- ・ひとり暮らし高齢者及び独居高齢者世帯の健康状態、心配ごとの把握につながった。
- ・参加者同士の交流が深まり、近隣のつながり作りになった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数 70 人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし及び高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を実施し、安否確認と世帯の状況把握に努めた。
- ・独居高齢者への年末の給食支援
年末にお弁当を届け、合わせて安否確認や生活状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。
外で転倒し起き上がれなくなった高齢者を早期に発見して無事が確認された例があった。

桂木 3・4 丁目町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	210
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 18 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

- ・福祉委員会（2 ヶ月に 1 回）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

- ・福祉研修会に参加

- ①千歳地域 SOS ネットワーク研修会に参加
- ②小地域福祉活動研修会に参加
- ③「介護の日講演会」に参加
- ④千歳地域福祉フォーラムに参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

- ・福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動を円滑に進めることができた。
- ・福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6 回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども（対象者数 100 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

- ・歩こう、パークゴルフ大会
指宿公園までゆっくり歩きパークゴルフを楽しんだ。年 3 回実施
- ・お楽しみ交流会
高齢者と子どもたちとの交流会を実施した。

- 冬～餅つき 年1回実施
- ・ふれあい日帰り旅行（年1回）
温泉施設の利用。
- ・出前講座の開催（年1回）
市の出前講座「カラーリング」を開催した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所
- 事業成果
- ・参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながりました。
- ・高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 14回
- 対象者 高齢者・障がい者
（対象者数7人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる
- 実施事業
- ・見守り・声かけ訪問活動（年6回）
ひとり暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- ・「敬老の日」粗品配布
高齢者に永年の苦労を謝し粗品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。
- ・除雪支援活動（年7回）
ひとり暮らしの高齢者世帯の状況把握に努め、冬期間の除雪支援を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果
- ・ひとり暮らし高齢者等の安否確認、心配ごとの把握につながった。
- ・地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

桂木5・6丁目町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	128
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・民生委員児童委員・役員・福祉委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有
- 実施事業
- ・福祉委員会
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換・共有を行った。
- ・「福祉委員だより」の発行
福祉委員が福祉イベントの案内を70歳以上の方全員に手渡しで届けた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携、会長・役員との連携が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数90人）
- 目的 実態把握
- 実施事業
- ・台帳の作成
高齢者世帯等の状況を把握するため、台帳を作成し町内のマップを活用して、日常の見守りや声かけを行い、また、高齢者を介護する家族に対する支援も行った。
- 連携・協力機関及び団体
町内会長
- 事業成果
福祉委員全員が、台帳に基づいて全体の把握、共有ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 9回
- 対象者 高齢者（対象者 90 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域とのつながりづくり

●実施事業

- ・日帰り温泉ツアー（1回）
支笏湖休暇村の送迎バスを利用し、昼食、カラオケ、散策、入浴等で親睦を深めた。
- ・敬老会（1回）
70 歳以上対象者全員に案内を届け、出欠の確認を取った。欠席者には記念品を届けた。
- ・お楽しみ会（1回）
店でおそばをいただいた。
- ・ふれあいサロン（5回）
認知症防止に健康麻雀を 11 月から月に 1 回開催した。

●連携・協力機関及び団体

町内会文化部・総務部

●事業成果

高齢者、ひとり暮らし等の安否確認や健康状態、心配ごとなどを把握することができた。
参加者同士の交流の場となり、楽しく会話がはずみ、元気になった。
引きこもりこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 90 人）
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動
ひとり暮らし、高齢者世帯に対して、見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員。

●事業成果

地域の高齢者、障がい者と福祉委員との信頼関係が深まり、ひとり暮らしや高齢者世帯等の対話が円滑になり、生活上の困りごとに対する相談や地域のつながりづくりなど孤立防止につながっている。

新星町内会

福祉委員人数	1 人	世帯数	62
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員（対象者数 30 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会。

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められ、福祉活動に対する関心が高まった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 30 人）
- 目的 要支援世帯（高齢者）の状況把握

●実施事業

- ・要支援（高齢者）世帯台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握するため、台帳を作成し必要に応じて見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者・地域住民・こども
(対象者数 40 人)

●目的 高齢者の仲間づくり、温かい人間関係の構築

●実施事業

・ふれあいサロン（年2回）

おしゃべり、食事会、レクリエーション、カラオケ等を実施した。

・高齢者との昼食会（年2回）

ゲーム、余興、食事会等（町内会員とバーベキュー）を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになり、高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 30 人)

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図る

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

近隣住民にも協力を得ながら、地域のつながりづくりと高齢者等の孤立防止につながった。

北斗南町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	165
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 5回

●対象者 社会的弱者（高齢者・病弱者
ひとり住まい高齢者）

●目的 地域福祉活動の推進・福祉委員の
資質向上のための研修

●実施事業

・福祉委員会

町内における組織的福祉活動の意義と具体的な活動計画についてと担当区域別に事業対象者の状況把握及び情報交換を行った。また、福祉マップの作成を行った。

・各種行事の支援

夏祭り（七夕）、敬老会、餅つき大会の支援を行った。

・福祉に関する各種研修活動等への参加

福祉研修会及び北桜コミュニティ協議会コミセン祭りに参加した。

・福祉のための資源等の収集活動

資源回収庫にリングプル・ペットボトルキャップ、古切手等の収集箱を設置した。

●事業成果

事業をとおして町内会の福祉活動の意義について知り、福祉の大切さを実感した。

2 交流活動（ふれあい・語らい）①

●実施回数 4回

●対象者 80歳以上の高齢者（52名）・町内
会員・児童生徒

●目的 三世代ふれあい世代間の意識、絆
を確かめ合う

●実施事業

・三世代ふれあいラジオ体操（1回）

夏休み中の児童生徒の健在育成を図るため、青少年部が担当し、高齢者や父母の参加により

実施した。

・七夕祭り（1回）

七夕行事を通して町内会員相互、子ども相互、町内会全体での世代間の交流を図った。

・餅つき（1回）

家庭では経験できなくなった日本の伝統行事を子どもにも体験させ、文化の伝承を図るとともに世代間の交流を図った。

・敬老会（1回）

80歳以上の高齢者を招待して長寿を祝い、祝い品（当年80歳になられた方）を贈呈し、町内会員とともに益々の長寿を祈念し、交流祝賀会を実施した。

招待状は、福祉委員が各人に配布し、出欠を伺った。招待者を中心にして、祝賀会を盛り上げることができた。

●事業成果

ともすると断絶する傾向のある世代間の交流を、行事をとおしての絆が深められ、日常生活でも交流の場面が見られるようになった。

- ①三世代ふれあいラジオ体操では、高齢者の参加が増えている。
- ②七夕祭りでは、各世代の参加があり、特に若い母親の参加が多かった。
- ③餅つきでは、高齢者の参加が多く、餅をつく若手の参加を呼びかけたが昨年より少なかった。子どもたちは増えたが、餅のつき手の確保が次年度からの課題である。
- ④敬老会では、高齢化の進むなか、招待者の高齢者（90歳以上）の出席が減っているが、当年80歳になった方は楽しみにしており出席率がよかった。いろいろな余興を工夫して楽しく行った。

北斗2丁目自治会

福祉委員人数	2人	世帯数	94
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者（単身）世帯、高齢障がい者（65名）

- 目的
- 1 高齢者相互間の親睦・交流を図り、支え合い、助け合いの心を醸成するとともに良好な人間関係を確立する。
 - 2 「出前講座」を受講し千歳市の歴史認識及び郷土愛を高揚する。

●実施事業

1. 自治会福祉懇談会（6月参加者33名）
 - ・出前講座「千歳の都市計画のはなし」を1時間受講した。
 - ・会食・懇談
手作り料理による会食と自治会に対する要望及び質疑応答。
2. ふれあいサロン活動（11月参加者32名）
 - ・出前講座「千歳の観光スポット」を1時間受講した。
 - ・会食・懇談
会食後「救急カードの利用法」についての説明等を実施。

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会・市役所

●事業成果

「出前講座」2回受講し、地域住民の一人として誇りと地域への愛着心を持つことができた。会食時に懇談をして高齢者間の親睦・交流を深めることができた。



北斗3丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	174
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員（対象者数5人）
- 目的 情報の交換と確認
- 実施事業

年10回4月と12月を除く毎月定例役員会後に福祉委員会を開催し情報の交換を実施した。

町内会を3ブロックに分けて担当しているので、各ブロックの情報を共有し確認しあった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・女性部

●事業成果

今後も継続していきたい

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回
- 対象者 75歳以上の家庭
- 目的 75歳以上の方の健康状態を確認
- 実施事業

・夏祭りへの案内と健康状態確認

75歳以上の家庭へ町内会開催の夏祭りへの招待券を発行し、町内会館前駐車場まで出向いてもらい歩行状態を見て健康状態を確認できた。自然に確認できたよい機会であった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・夏祭り実行委員

●事業成果

174世帯意のうち62世帯に招待券を配布。天気がよいので55世帯の方が出向いてくれた。過去最高の参加率88.7%でした。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1回

- 対象者 75歳以上の独居のかた
(対象者数11人)

- 目的 新年を迎える一助になりれば

●実施事業

町内会女性部と共催で、独居老人へおせち料理を配布して、新年を迎える一助にしてもらった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・女性部

●事業成果

今年2名増加 今後も継続していきたい。

北斗西町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	132
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年4年
- 対象者 福祉委員長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数11人)
- 目的
 - 1 地域福祉ネットワーク活動
計画の策定、情報・意見交換
 - 2 一人暮らしの高齢者等へのおせち料理などの宅配

●実施事業

- 1 28年度活動状況の報告及び事後の活動の打ち合わせ、一人暮らしの高齢者方々の現状確認。各種行事での成果報告および今後の行事参加者の向上について分析検討を実施し、ダイレクトメールを活用等。
- 2 福祉委員間の頻繁な情報交換と対処要領について
- 3 町内会餅つき計画について
- 4 一人暮らし世帯の除雪支援について
- 5 ふれあいサロンの計画と方向性の検討
- 6 年末の独居老人に対する宅配支援計画について

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地区担当福祉委員が戸別訪問等を実施し、近況を把握することが出来効果があつた。又、町内行事と一体化し円滑かつ効果的に事業が出来た

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 独居老人等、町内会全員
(対象者数 12 人)
- 目的 各種行事を通じて交流を実施し
親睦を深める
高齢者の地域に対するニーズの
把握及び交流ふれあいの強化

●実施事業

- 1 夏祭り会場にて、高齢者と福祉委員が面談を行い心情の把握を行うとともに他の町内会会員との交流を深めたのはよかった。
- 2 町内会餅つき・子どもお楽しみ会行事を活用し、餅つき、ビンゴゲーム及び会食を行い、なごやかに三世代にわたる交流ができたのは良好な事業となった。
- 3 マジックショー、映画鑑賞会を実施し、親睦を深め又民生委員とも交流を深め、心情の把握にも効果があり、有意義なふれあいサロンになった。
- 4 近況把握に効果があつたのは良好であつた。来年度についても実施していき尋常把握に努める。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

- 1 夏祭りは多数の町内会会員が参加し盛大になり情報交換と近況把握ができ、良好な状態であつた。餅つきについては、冬季ということもあり若干参加が少なかった。来年度は、検討を実施し向上に努める。
- 2 対象者の出席が若干少なかったが、近況把握についての効果があつたため、継続的にふれあいサロンを実施していく必要がある。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11 回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・独居老人等
(対象者数 11 人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者へのおせち料理等宅配と除雪支援

●実施事業

- ・おせち料理などの宅配を実施し、世間話などを行い直接近況を把握に努め、健康状態を把握し直接確認できたのは良好であつた。
- ・福祉委員会において引き続き独居老人に対し・声掛けを積極的に行うことを確認し、町内会役員等に働きかけることを確認した。
- ・一人暮らしの高齢者 5 世帯に対して、町内会の支援を受け、延べ 118 回の支援を行った。生活・緊急避難経路を確保できた。又、委嘱除雪ボランティアの 6 名で除雪支援組織を確立し、さらに福祉委員及び町内会役員が更なる支援を実施するとともに、近況把握に努めえることができた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

今年度は、若干雪が少なかったものの集中的な降雪があり除雪支援は困難であつたが、嘱除ボランティアの方々は、献身的に実施してくれて問題なく行われた。来年度もよく計画し積極的に支援を実施していきたい。

対象高齢者を直接訪問したが、健康状態も良好であり、元気に正月を迎えられそうであつた。

又、宅配した高齢者は喜んでいたようであり来年度も実施していきたい。

北斗北町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	153
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者、子供、町内会員
(対象者：106人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・町内親睦パークゴルフ大会
内容～パークゴルフを通じ、会員の親睦・交流を実施。回数～年2回実施（春・秋）
 - ・夏祭り
内容～子供達の夏休みに合わせて、高齢者や地域の会員との交流会を実施。
バーベキュー、ゲーム、おやつ配付、抽選会、花火、盆踊り
回数～年1回実施
 - ・敬老会
内容～祝賀会、食事会、歓談、余興等。
回数～年1回実施
- 連携・協力機関及び団体
民生児童委員・老人クラブ
- 事業成果
 - ・一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。
 - ・参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながりました。
 - ・高齢者の閉じこもり防止につながりました。

2 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 186回
- 対象者 病弱・高齢者・独居者
(対象者数72名)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・除雪支援活動事業
ひとり暮らし高齢者世帯に対して、生活道路と安否確認のための除雪を行いました。
9世帯、184回、延べ227人で実施。
 - ・75歳以上の一人暮らし高齢者へ「お祭りチケッ

ト」の配布事業

夏祭りの行事に合わせて、「お祭りチケット（1000円相当）」をお届けし、参加の呼びかけと合わせて安否確認や生活状況の確認を行いました。年1回実施

- ・一人暮らし高齢者ぶらぶら巡り旅事業
一人暮らし高齢者世帯の状況把握に努め、近隣へのぶらぶら旅と買い物などの支援を行いました。年1回実施。

●連携・協力機関及び団体

民生児童委員・老人クラブ・福祉委員

●事業成果

- ・近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。
- ・生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながりました。



自由ヶ丘町内会

福祉委員人数	60人	世帯数	1270
--------	-----	-----	------

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回
- 対象者 65歳以上
- 目的 年長者名簿の作成
- 実施事業
 - ・年長者名簿の作成

町内会在住の 65 歳以上の年長者名簿の作成
年 1 回調査実施（5 月）

・各区長による会員名簿の更新

●事業成果

- 1 65 歳以上年長者を掌握
- 2 敬老会・桜寿会への参加・入会の促進
- 3 家庭環境・家族構成・健康状態の把握復活

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 16 回

●対象者 高齢者・福祉委員・役員
民生委員（対象者数 288 人）

●目的 相互の親睦を基準とし、地域の仲間づくりの輪を広げる

●実施事業

- 1 パークゴルフ大会（3 回）
高齢者と地域住民との交流を行った。
（1 区・2 区・6 区）
- 2 お楽しみ交流会
（1）焼肉：3 回（1 区・3 区・5 区）
（2）お楽しみ会：2 回（4 区・5 区）
（3）そば打ち：2 回（3 区・4 区）
（4）新年交流会：2 回（1 区・2 区）
- 3 敬老会
改修工事終了につき、1 年ぶりに復活。対象者（75 歳以上）

●事業成果

- 1 65 歳以上年長者を掌握
- 2 敬老会・桜寿会への参加・入荷の促進
- 3 家庭環境・家族構成・健康状態の把握

桜木町内会

福祉委員人数	24 人	世帯数	655
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 5 回

●対象者 福祉委員（対象者：20 人）

●目的 町内行事、福祉部活動への参加呼びかけ

●実施事業

- ・福祉委員会
年間 5 回（4/15・7/26・9/9・1/27・3/30）
生き生き体操、敬老会、夏まつり支援、子供餅つき支援の打合せ。
- ・「社会福祉協議会等主催
フォーラム・福祉大会に参加。
- ・町内会「ふれあいだより」
発行年 4 回（内 1 回カラー）
- ・救急カードの発行
古くなって活用できない物の交換、新たな入居宅への配付。

●連携・協力機関及び団体

民生児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

町内の対象世帯に届ける。情報の収集・発信
学び伝える方法

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 福祉委員会の中で年 2 回

●対象者 福祉委員・民生委員

●目的 地域の高齢世帯の状況把握

●実施事業

- ・町内福祉マップ点検・新しい対象者世帯の把握（260 人）
一人世帯、日中一人世帯、二人ともに 70 歳以上の高齢者世帯、その他の世帯。
- ・75 歳以上の名簿作成（206 人）
- ・その他

●連携・協力機関及び団体

民生児童委員・市役所

●事業成果

だんだん町内も高齢者の数が増加して委員の充実も大きな課題。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 25 回
- 対象者 福祉委員、民生委員
- 目的 楽しく交流できること
- 実施事業
 - ・敬老会
対象者 206 人→75 名が参加。賑やかに盛り上がった。
 - ・生き生き 10 歳体操。月 2 回（第 2・第 4 木曜日）実施 5 月から翌年 3 月まで
介護予防リーダーの育成 1 回平均 20 名の参加。
 - ・町内行事の支援（夏まつり 8/6、子供餅つき大会 12/25）
- 連携・協力機関及び団体
民生児童委員・老人クラブ
- 事業成果
 - ・敬老会は参加者が増加、数年ぶりに参加した人を交えて賑やかに盛り上がった。
 - ・生き生き体操は 20 数名の参加で 1 年間継続できた。来年度は楽しみを増やしてさらに充実させていきたい。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 随時
- 対象者 福祉委員・役員有志で結成（対象者数 15 人）
- 実施事業
 - 1. 除雪支援（対象 8 件）報告
 - 2. 見守り、声かけ活動の中で支援が必要な事態が発生したら、民生委員と連携して行政等につないでいく。今年は具体的な事案はなし。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果
除雪支援は体制が整う前に 11 月～12 月初めにドカ雪が来て対応が大変だった

北栄南町内会

福祉委員人数	11 人	世帯数	307
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 20 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員
児童委員（対象者数 12 人）
- 目的 福祉活動における情報交換を行い、問題の早期解決に努めるとともに、委員の資質向上を図る
- 実施事業
 - 1. 福祉委員会（3 回）
定期的な会合を開き、福祉事業の実施及び町内会・コミ協行事への協力・参加要領を協議・調整し、また要援護者の情報交換、課題の共有に努めた。
 - 2. 「町内会だより」発行及び福祉委員の訪問等によるイベントの案内及び「99カード」、「災害時避難行動要支援者個別計画」の推進（6 回）
特に各種の機会を捉えて「99カード」の周知・活用上の注意喚起を千歳市と連帯して「災害時避難行動要支援者個別計画」の台帳整備を行った。
 - 3. 北栄・新富福祉委員会の役員会・研修会への参加（5 回）
北栄・新富の 6 コ町内会合同で福祉活動の協議・検討を行うとともに、合同研修会により民生・児童委員と交流し、情報の共有を図った。
 - 4. 福祉研修会の実施及び参加（6 回）
市の出前講座を活用し、「介護予防」の研修会を実施した。また社協の研修会に参加して福祉の現状・問題点、その解決法を学習した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター・市役所
- 事業成果
福祉事業に対する地域の理解を深め、福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が概ね円滑に進められた。また、福

社委員の資質向上を図ることができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数 180 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 1. 高齢者名簿の更新
日常の声かけ、訪問活動により高齢者世帯特に独居高齢者世帯や障がい者世帯の実態を把握して、高齢者名簿を整備した。
 2. 福祉マップの更新
特に独居高齢者、障がい者世帯等の現況を把握し、災害時の避難誘導に備えた福祉マップを整備した。
 3. 災害時避難行動要支援者個別計画に実態把握の実施
希望された対象者の個別計画申請手続き業務の実施を通じて、市と連携して災害時の要支援世帯の状況を把握した。(対象者 18 名)
 4. 独居高齢者等の除雪支援者の選考調査
今年度の除雪支援対象者の選考のため、訪問等により調査を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ、訪問が効果的に行われるとともに、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 51 回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども等
(対象者数 200 人)
- 目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり
- 実施事業
 1. 介護予防サロン（月 4 回、47 回）

- 介護予防体操、おしゃべり、食事会（第 2・4 曜日）を実施し毎回 20 名以上が参加した。
2. ふれあいサロン（11/20）
65 歳以上の高齢者を対象に、市の出前講座、食事会、歌声喫茶、ビンゴ大会を実施しふれあいが出来、手料理が大好評であった。
3. お楽しみ会（7/18）
北栄・新富 6 コ町内会福祉委員合同による高齢者の交流を実施し、余興、食事会等で盛況であった。町内からは、高齢者 24 名福祉委員 6 名が参加した。
4. 三世代交流餅つき大会（4/29）
親子、孫、役員が一体となり餅つきを体験させ、終了後雑煮等で会食を行うとともに、一人暮らしの高齢者には福祉委員が「餅パック」を 34 名に宅配した。
5. 町内会敬老会（9/25）
70 歳以上の高齢者に対し、福祉委員が案内した参加者を掌握、当日の不参加者 50 名に「記念品」を宅配した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握が概ね出来た。また福祉委員や高齢者間の交流が出来、地域のつながりに役立った。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数 180 人)
- 目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり
- 実施事業
 1. 見守り・声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
 2. ひとり暮らし高齢者等へのお餅セットや記念

品宅配（2回）

三世代交流餅つき大会で 37 名の独居者に対し、お餅パックを 34 名に宅配した。又町内の敬老会への不参加者の高齢者 50 名に記念品を宅配した。

3. 独居高齢者等の除雪支援活動

独居高齢者及び障がい者の 9 世帯を厳選して、福祉委員 5 名により除雪支援を実施した。

4. 災害時避難行動要支援者の個別計画の推進

市と連携し、申請希望者の手続き業務を行う等により、要支援世帯の状況を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

特にひとり暮らし高齢者等の孤立死を未然に防止でき、安心・安全な地域づくりに役立った。

北栄東町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	235
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10 回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 12 人)

●目的 福祉委員の資質の向上、委員間の情報交換

●実施事業

・福祉委員会

各委員の担当地区の状況を委員間で情報交換し、必要により対応、処置を講じた。

北新コミュニティ等の機関・団体等の行う事業に積極的に参加、福祉に関する知識及び能力の向上に努めた。

●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年度初めに 1 回、変更が 5 回

●対象者 高齢者 150 名・単身者 50 名

●目的 高齢者の把握

●実施事業

・高齢者名簿の作成

委員の活動資料とするため年度初めに 65 歳以上の高齢者の地区別に区分したものを作成した。

・一人暮らし、高齢者名簿の作成

重点指向の資料とするため高齢者の中で、ひとり暮らしの方の名簿を作成した。

・高齢者住居の地図作成

訪問を容易にするために作成した。

●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 48 回

●対象者 高齢者・子ども（親）
(対象者数 110 人)

●目的 相互に親睦を深め、孤独感の解消

●実施事業

・ひとり暮らし高齢者交流会

ひとり暮らし高齢者を招き食事をしながら会話し、唄と余興を楽しんだ。

・敬老会（1 回）

70 歳以上の高齢者を招いて、食事を提供し、余興、カラオケを楽しみ互いの交流を深めた。

・カラオケサロン（毎週水曜日）

13 時から 15 時の 2 時間お茶を飲みながら、カラオケを楽しんだ。

・餅つき（1 回）

餅つきを通じて親子と高齢者の三世代交流に成果があった。

●事業成果

交流を深め、孤独感の解消に成果があった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 孤立化の防止

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問

日常的に生活状況を把握し、その状況によって訪問し安否の確認を行った。

●事業成果

孤独死の防止に役立った。

新富西町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 1回

●対象者 町内会全員

●目的 救急カード事業の更新と指導

●実施事業

- ・救急カードの更新

内容の再確認、転入者への周知を回覧により呼びかけ、最新化を図る。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

新築や引越しなどで救急カードを初めて知った方がいた。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 4回

●対象者 高齢者(100人)

●目的 事業を通して高齢者・独居者の安否確認を知ることが出来る。

各行事を通して近隣との交流活動を活性化する

●実施事業

- ・敬老会(1回 73歳以上 対象者 100人)

福祉委員が対象者を訪問して出欠を確認。欠席者には記念品を届けた。

- ・サロン(2回、60歳以上)

食事会をしながら交流を深め、安否の再確認を行った。

- ・お楽しみ会(1回 70歳以上・独居者は65歳以上 対象者 88人)

北新コミセン主催のお楽しみ会への参加・支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・会長・副会長・総務部・婦人部

●事業成果

敬老会では家族状況等を知ることができた。

サロンは参加が少なく、老人クラブとの共催で開催すると増加する。

お楽しみ会はコミセンまで出向くのが大変との声が出ている。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 独居者・高齢者・障がい者

●目的 孤立防止と安否確認

●実施事業

- ・定期的な声かけ・安否確認
- ・毎月の町内役員会での状況確認
- ・簡単な雪落としの手伝い

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

現在のところは特に問題は起きていない。

新富東町内会

福祉委員人数	13人	世帯数	274
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 5回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・役員等（対象者数35人）
- 目的 各行事の打合せ、総会の準備、次年度事業の打合せ等

●実施事業

- ・三役会・役員会・総会

福祉委員、民生児童委員とともに、ひとり暮らしや高齢者の方への啓発活動や在宅福祉サービス、見守り強化などの依頼を行った。

- ・北新コミ協との合同研修（参加者8名）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・町内会役員

●事業成果

福祉委員及び民生委員との連携につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年2～3回
- 対象者 ひとり暮らしの方
- 目的 緊急連絡カードの取得等
- 実施事業

町内会の方が現状を把握するため、年2～3回民生委員とともに巡回を実施している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

少しずつ成果が上がっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 ひとり暮らしの方・高齢者（対象者数30人）
- 目的 対象者の方がたの交流
- 実施事業

- ・日帰りバス旅行（1回）

余市方面へ果物狩りを実施。30人の参加があった。

- ・北新コミ協お楽しみ会（1回）
町内会から27名が参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

それぞれの成果が上がっている。

新富中町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	300
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員（対象者数13名）
- 目的 福祉部に関わる事業計画立案
高齢者（特に独居者）及び要配慮者。救急カード設置状況の把握及び更新の推進

●実施事業

- ・福祉、民生委員児童委員合同会議（7回）
- ・サロン等の事前打ち合わせ会議（3回）
- ・介護予防サロン等計画・実践
最終日には茶話会を実施。
- ・救急カード設置状況の把握・更新の推進
行事案内の配付時に戸別訪問を行い、把握・更新を実施した。
- ・各種研修会等へ出席し、知識の習得・能力の向上を図った。
- ・北新コミュニティ協議会研修会、出前講座に参加し6町内会福祉部との連携を図った。

●連携・協力機関及び団体

北新コミュニティ協議会

●事業成果

複数回の会議開催により、目的の共有ができ、事業等の運営がスムーズに進んだ。

訪問活動時に複数で行動することにより相手に安心感を与え、効果は大きかった。

研修会・講習会で得た知識を会議で発表し、全

体の能力の向上に寄与した。他町内会との交流が深まった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 随時
- 対象者 町内会全世帯
(対象者数 300 世帯以上)
- 目的 災害時・緊急時対応
要配慮者世帯(者)の把握・地域
支援者の確保

●実施事業

- ・「救急カード」の新規・更新の確認作業を全世帯対象に実施。
- ・「災害時避難行動要支援者」及び「地域支援者」の把握及び・確保
町内会防災部と連携し建物や避難経路等の確認を実施。防災講座に出席し知識の習得に努めた。
- ・新たな入居世帯(者)及び退去世帯把握
- ・「町内全世帯台帳」の作成及び更新

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 53 回
- 対象者 町内会会員高齢者全員
- 目的 高齢者の孤立防止
救急カードの更新・普及の推進
年齢相応の体力作り

●実施事業

- ・「サロン」（3 回）
出前講座等を利用し、昼食をとりながら楽しく過ごした。
- ・北新コミ協「合同お楽しみ会」（1 回）
福祉・民生・児童委員合同で戸別訪問し参加の呼びかけをし、近況確認を行った。大変好評であった。
- ・介護予防サロン「いきいき百歳体操」（49 回）
毎週実施。月の最終日には茶話会を実施して親睦を深めた。脳トレなども行い認知症の知識を共有した。他町内会の会員の参加もある。

●連携・協力機関及び団体

北栄東・信濃 2 丁目・富丘町内会

●事業成果

出前講座等の利用で楽しみが増えて好評だった。戸別訪問時の複数人活動は安心感を与えて円滑な活動に繋がるので今後も継続する。昼食会等は参加者全員が満足していた。サロン活動では他町内会との交流と親睦が得られた。

新富北町内会

福祉委員人数	19 人	世帯数	551
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員（対象者数 30 人）
- 目的 福祉委員活動に資する情報の共有
- 実施事業
・福祉委員会

福祉活動に関する福祉委員相互の意思の疎通を図り、事業の円滑な実施に資すると共に、要援護者の生活環境に関する情報を交換し、特定の要援護者の見守り継続と福祉情報を共有した。

●事業成果

福祉委員相互の認識をそろえ円滑な事業推進に資するとともに、町内要援護者に関する情報を共有し福祉委員の意識の向上を図った。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者
(対象者数 204 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
・高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポー

ト」等現況早見表の作成（更新）

独居高齢者、特定要援護者世帯等の恒常的支援が必要な状況を把握するため、高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表を作成（更新）し、福祉委員による見守りや声かけに活用した。

●事業成果

定期的な更新を実施し、福祉委員による見守り活動等に資するとともに災害発生時の特定要援護者の支援について認識を統一した。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 84 回

●対象者 高齢者（対象者数 162 人）

●目的 高齢者の交流機会の継続的促進

●実施事業

・敬老感謝のつどい

80 歳以上の高齢者に記念品を贈呈するとともに会食余興で親睦を深めた。

・ひとり暮らし高齢者交流会

独居高齢者の交流機会をつくり女性部の手作り料理で健康と長寿を祝った。

・ふれあいサロン（7 回）

カラオケ以外の懇談・囲碁・将棋等で親交を深めた。

・いきいき百歳体操（75 回）

月平均 7 回実施し、延べ 920 人が参加し、体力の維持・回復を図った。

●事業成果

閉じこもりがちな高齢者に外出の機会を与え他の高齢者と交流し孤立を防止するとともに相互の親交を深めることができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 139 回

●対象者 除雪困難世帯（7 世帯）

●目的 除雪困難世帯の日常生活支援

●実施事業

・除雪困難世帯・指定避難所の除雪作業支援

民生委員からの情報及び高齢者名簿から除雪困難者を調査し、町内会有志（主として町内会役員）で、除雪困難世帯・指定避難所の除雪を支援した。

●事業成果

例年になく積雪量が多く従前の倍の除雪支援を行い、対象世帯から支援人員に対する多くの謝意があった。

信濃 1 丁目町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	106
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 3 回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会役員（対象者数 12 人）

●目的 福祉委員活動における各委員間の情報交換

●実施事業

・福祉委員会（3 回）

福祉活動の協議、ひとり暮らしの高齢者世帯等、見守り世帯に関する情報交換を行うとともに課題の共有を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

福祉委員・民生児童委員・町内会役員同士との連携強化を図り、見守り世帯への情報交換の共有に努め、円滑な活動に努めた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2 回

●対象者 町内会会員

●目的 親睦交流会

●実施事業

1. 日帰り研修

9月4日（日曜日）南幌町 20名参加。南幌温泉で、パークゴルフ、入浴、食事会を実施し、交流を深めた。

2. 交流会・敬老会

10月16日（日曜日）信濃町内会館。大人39名、子供9名参加。

女性部の協力を得て、信濃町内会館において高齢者から子供までクイズ、ビンゴゲーム、カラオケを実施し、交流会及び敬老会を実施し、町内会員相互の交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

敬老会を含めているため、一人暮らしの高齢者の参加があり、又子供の参加により、世代間の交流が見られるなど、地域に根ざした活動を図ることが出来た。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 一人暮らし高齢者・高齢者世帯（対象者数63人）

●目的 地域のささえあい

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや健康状態などの声掛けを行い、安否の確認に努めた。

・除雪支援（対象者数4人）

ひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯に対し、生活道路確保と安否確認のため町内会長、福祉委員を中心に支援者が除雪を行った

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対して、安否確認を行うことが出来た。

18回の除雪を実施し、生活道路の確保に努めた。支援者も高齢化してきており、平日は若い世

帯の方からの支援が勤務の関係上難しく、負担が増してきている。

信濃2丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	480
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 会長・町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員

●目的 役員相互の情報交換、課題等の共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び情報交換を密にして異変の早期発見・課題等の共有を行いました。

・福祉研修会に参加

各種地域福祉研修会に参加し、資質向上に努めました。

・出前講座の開催

市内の各施設の紹介（高齢者住宅・サービス内容・料金・制度等）があり自身の身近な問題として真剣に受講していました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

福祉委員をはじめ、役員間の連携が深まり課題等の共有が出来福祉活動が円滑に進められました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 通年

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）

要支援高齢者、単身高齢者、障がい者の状況把握のため「要支援世帯台帳」を作成し、必要に応じ訪問、声かけを行った。

・75歳以上全員の台帳作成（更新）

高齢者の状況把握を容易にするため、又継続性を持たせるため75歳以上全世帯の台帳を作成しました。特に健康状態・困りごとに気を配りながら現況把握を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

要支援世帯台帳により現況把握を継続する事が出来、異変の早期発見につながりました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 ふれあい交流会（全世帯）敬老会対象者

●目的 仲間づくり、引きこもり防止

●実施事業

1 ふれあい交流会

- ・1回目 6/26（日）前段1時間は児童9人を含む65人でカラーリングを楽しみました。
- ・2回目 11/24（木）前段1時間は西区地域包括支援センターによる市内各種福祉施設の紹介など意義ある講和を受講しました。後段は親睦会で交流を深めました。

2 敬老会（対象者75歳以上）

9/25（日）関係役員を含む61人で健康と長寿をお祝いしました。

●連携・協力機関及び団体

地域包括支援センター・市役所

●事業成果

案内状を配る際、ひとり暮らし高齢者、要援護高齢者に対して、手渡しで配り、会話することで状況把握ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 要支援高齢者/障がい者

●目的 孤立防止・支え合い・生活不安の軽減

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

ひとり暮らし高齢者・要支援高齢者・障がい者に対し、見守りや声かけ訪問をし、孤立防止や健康状態など現況把握に努めました。又、町内会各種行事に積極的に参加するよう促しました。

・除雪支援活動

身体的な理由により除雪労力の困難な世帯に対し、除雪支援を行い生活不安の軽減を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

声かけ訪問を行い、「孤立しない、させない」を目指した環境づくりにつながった。

信濃3丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 2回

●対象者 福祉委員（対象者数12人）

●目的 独居高齢者の近況（現況）の把握

●実施事業

1. 福祉委員会：年2回実施（対番訪問者による近況情報）

(1) 避難行動要支援者名簿確認 地域支援者22名

(2) 災害時避難行動要支援者名簿 個別計画推進22名（2名登録抹消）

(3) 福祉委員会にて計画

除雪支援は滞りなく終了した。28年度10名支援者：15名

2. 救急カード整備

(1) 福祉部・福祉委員が主体となり、会員・家族

の60歳以上を対象に実施した。28年度：9名
(転入者：1) 対象

(2) 記入後は、所定のケースに入れて玄関など見
やすい場所に設置

(3) 個人情報の漏洩防止

●事業成果

1. 福祉委員会の情報交換、福祉マップの修正
2. 避難行動要支援者名簿 該当者：名簿の修正
死去2名、施設入居者1名 28年度12月
市介護課にて更新 現在：22名
3. 救急カード賛同者は276名 28年度：9名
4. 除雪支援は喜ばれた

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 1回（10月26日）

●対象者 15名

●目的 独居高齢者の近況（現況）の把握

●実施事業

調査活動（実態調査）

1. 福祉委員会における、情報の共有 民生・児
童委員参加
- (1) 各委員による対象者の近況発表 情報の供給
- (2) 対象者名簿の見直し（福祉マップの修正）
- (3) 避難行動要名簿作成 修正・更新12月2名削
除除雪支援の調査・計画10世帯に対し実施
- (4) 救急カード整備プランの計画・実施（60歳以
上）新規登録者：9名

●事業成果

1. 対象者の近況を把握した福祉マップの修正
2. 除雪支援は感謝された
3. 救急カード整備は、今年度60歳以上9名該
当した。（毎年度：60歳以上実施）
4. 「個別計画台帳」修正2名登録抹消された

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 町内会行事による

●対象者 招待者137名

●目的 祝賀会（長寿を祝う会として）

●実施事業 交流活動（ふれあい・かたらい）

1. 敬老会（9月21日）

(1) 町内会高齢者（75歳以上）に招待状を134名
に配布 参加者：56名

(2) 芸能会・カラオケ・ビンゴゲーム等を実施

(3) 女性役員等の手作り料理でもてなす

(4) 参加できない招待者にお祝いの「紅白まんじ
ゅう」を配布（80名）

2. ふれあい餅つき大会（12月20日）

(1) お年寄り・子供を対象（クリスマス会を兼ね
て）

(2) 参加者69名（児童：23名、千子連：4名、父
兄：11名、会員参加者：31名）

(3) 参加できない高齢者に注意書きを添えて「餅」
を届けた（18名）

3. おたのしみサロン（年9回）出前講座、いき
いき百歳体操

(1) 町内会自前サロン（カラオケ、各種ゲーム、
麻雀、カード遊び）等

(2) 出前サロン（千歳市講座、赤十字芸能団）

(3) 各サロンには軽食（昼食）を準備した。

4. パークゴルフ

6月、7月、9月、10月の4回実施し平均
16名参加 延べ64名参加

●事業成果

1. 敬老会参加者：135名中57名が参加して、盛
大に終了
2. ふれあい餅つき・コドモクリスマス会は、大
勢の参加で賑わった。
3. おたのしみサロンは町内の恒例となり、参加
者は毎回楽しみにしている。
4. 出前講座「生き生き百歳体操」好評。次回も
要望あり。「災害が起きたときのために」市
危機管理課の支援受け実施。
5. パークゴルフは月1回であったが、参加者は
楽しみにしている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 15回（除雪支援・降雪時を基準）

●対象者 7名

- 目的 特に高齢者の災害時等避難経路確保・見守り

●実施事業

1. 独居高齢者宅の把握（防災・安全・その他）
 - (1) 独居高齢者宅（障がい者を含む）の要除雪援護調査
 - (2) 除雪支援計画：降雪時（11月下旬～3月）
 - (3) 降雪時（11月下旬～3月）の通路確保

10世帯に対して、15名の協力者が実施した。
（見守りを兼ねて）延べ195人回実施
 - (4) ふれあい餅つき大会に参加できない独居高齢者に「餅」を配布し、近況の把握を実施した。
2. 情報収集
 - (1) 除雪実施時に近況の掌握
 - (2) 日常の見守りの声かけ運動

●事業成果

- 1 要除雪援護者10名への除雪支援：支援者15による支援（延べ195回実施）
- 2 要除雪援護者から感謝された。
- 3 年末「餅」の配布を実施、喜ばれた

信濃4丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	458
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 福祉部会同15回研修会4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生児童委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員の情報交換・共有、資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員（部）会同15回実施しました（臨時会議含む）

高齢者の実態把握と問題点の解明を図った。
福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯に対する情報の交換、課題の共有を行った。連絡事項、町内行事の先取りにより円滑化を図った。

- ・福祉研修会（4回）11/19, 11/26, 11/28, 1/19
地域福祉の研修会に出席し、福祉活動に対する関心が高まった。
- ※福祉委員の活動が若い人に理解されず〔PR不足〕福祉委員の担い手がいらない。今後の活動に支障をきたすとともに、1人の活動に負担がかかる。（行事・福祉活動を削減するか）今後の大きな課題である。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

- ・福祉委員同士の連携強化と情報の共有、福祉活動が円滑に進められました。
- ・福祉に関する知識の向上を図った。
- ・福祉便りを「サロン便り」で情報の提供を図りました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

- ・要支援台帳の作成

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯台帳を作成し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

- ・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを更新した。
- ・救急カード交付台帳の作成（更新）

高齢者の見守りと声かけをスムーズに行うことができた。
- ・避難カードの確認

避難行動要支援者名簿を共有した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

要支援世帯等の状況把握、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになったとともに災害時の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 サロン 16 回、日帰り旅行 1 回
高齢者の集い 1 回

●対象者 65 歳以上全員

●目的 高齢者の孤立防止と友達づくり
地域の絆づくり

●実施事業

- ・ふれあいサロン（陽だまりサロン）（16 回実施
毎月 1・3 火曜日、延 236 名参加）サロン便り
を 3 回発行。

茶話会を中心としたゲーム・レクリエーション食事会、健康づくりを実施した。また、7 月 7 日野外パーティで、子供達と一緒に短冊作りを実施した。29 年 3 月 7 日には、おれおれ詐欺についての出前講座で 20 名の参加があった。

- ・高齢者の集い（1 回）

手作り料理に参加者の笑顔と元気をもらった。食事会、余興、ゲームなど、63 名参加

参加者が年々減少、また参加者も限定されていることが今後の課題。

- ・日帰り旅行（1 回）6 月 25 日

温泉入浴、ゲーム、食事等で日常生活から脱け出し心のリフレッシュを図った。

- ・カラオケ同好会（毎月第 2・第 4 火曜日、26 回）

歌を中心としてゲームや食事会を連合会館などで実施し、延 328 名の参加があった。

- ・さわやかパークゴルフ（6 回 80 名参加）

- ・ラジオ体操（5 月 1 日～10 月 31 日、毎日実施）
しなの第 2 公園

健康づくりと地域のつながりに努め、夏休み期間中は子供も参加して平均 45 名の参加があり、他町内会からの参加もあるなど非常に好評なので、継続的に実施したい。

- ・子ども（家族）と高齢者（見守り隊）の交流
高齢者（見守り隊）・子ども・保護者の参加

により行事を行った。

七夕まつり：7 月 7 日・62 名参加、クリスマスの集い：12 月 10 日・41 名参加、見守り隊と新 1 年生・6 年生の歓送迎食事会は 41 名参加し、千歳市シニアリーダーによるゲームなどが行われた。各行事とも大変好評で、今後も実施したい。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

参加者同士の交流により友達づくりにつながった。また、高齢者の孤立防止につながった。

健康増進と地域の絆作りに貢献し、夏休み期間中は高齢者と子供たちの交流につながった。

町内の行事に参加する機会の少ない若い保護者の参加により、参加者同士の交流に寄与するとともに見守り隊の皆さんに感謝の気持ちを伝えた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・高齢者を介護する家族

●目的 コミュニケーションを図り逐次会話を通じ生活環境、健康状態を把握するとともに要援護者の精神的空洞化を防止する

●実施事業

- ・ひとり暮らし高齢者

ひとり暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めるとともに除雪支援を実施した。80 歳以上独居者に年末支援（プレゼント）を実施した。

- ・80 歳以上の高齢者

安否確認や心配ごとの相談に努めるとともに 79 名に誕生プレゼントを実施した。

救急カードの更新等実施。

- ・高齢者を介護する家族

家族との会話を重点に生活状況確認を行っ

た。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

逐次会話を通じ生活環境・健康状況の確認と高齢者の孤立防止に努めた。また、参加者同士の交流により、近所付き合いのつながりに貢献した。

富士町内会

福祉委員人数	25人	世帯数	505
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 1回

●対象者 独居・老世帯（75歳以上）99名
（対象者数111名）

●目的 一人暮らし高齢者、老世帯の安否確認とコミュニケーション作り。

●実施事業

・温もり弁当配付事業

留守の無いように配付時間を確認。110名分を役員、総務部長、部員が5班に分けて配送。その時必ず一声かけて安否確認を行った。

●事業成果

喜ばれ、継続事業となっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 65歳以上

●目的 高齢者のふれあい交流、・三世代交流、高齢者安否訪問

●実施事業

・敬老会（1回）

食事やイベント（北斗中リコーダー部・中野みどり社中日本舞踊）を実施し、福祉部等役員が送迎車両を7台手配し参加者の支援を行い、61名の参加があった。

・ふれあい交流会（1回）

日帰りバス旅行。札幌市石屋製菓見学に行き、菓子作りとコンサドーレの練習を見学した。（参加46名）

・いも植え（参加72名）収穫祭（参加74名）

5月に植えたジャガイモを10月に収穫し、福祉部員がカレーライスを作り全員で試食した。

春は子供対象の消火器訓練を行い、収穫祭後は、漫画DVDを鑑賞した。

・餅つき交流会（参加97名）

参加者97名のうち、子供の参加が51名と多く餅を丸めるなどして、三世代の交流ができた。また、安否確認事業として、老世帯、独居高齢者へつきたての餅を配り喜ばれた。

・文化芸能発表会（参加109名）

●事業成果

ふれあい交流会は食事のバイキングが好評であり、老人クラブ勧誘に1名成功した。

収穫祭や餅つき大会は、会員や子どもの参加も多く世代交流ができた。

すべてが会員に喜ばれ、待たれる事業となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 10回 6月～3月

●対象者 独居27名・老世帯72名
障がい者13名 計112名
（対象者数124名）

●目的 要支援者の状況把握と安否確認

●実施事業

・安否確認訪問

福祉部主管（含民生児童委員）と福祉委員全員で支援の必要な高齢者世帯、障害者の状況把握を行い、要支援世帯台帳の更新を行った。

●事業成果

12月はつきたて餅を持参し、大変好評で待たれる事業となっている。

長都駅前町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	440
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 28人)
- 目的 福祉委員活動における町内会等の情報交換及び資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（毎月1回）
福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯、障がい者世帯に関する情報交換を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
福祉委員及び民生委員児童委員とのつながりが強くなり、福祉活動が円滑に進められ、福祉委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 80人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯台帳の作成(更新)
日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため要支援世帯台帳を作成(更新)し必要に応じて見守りや声かけを行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者数 60人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあい日帰り旅行（年1回）
福祉バスを利用し小樽水族館を見学し、会員同士の交流を図り、併せて高齢者世帯等の現状把握につながった。
 - ・夏祭り交流会（年1回）
町内会の夏祭りに合わせて、町内会員、高齢者と子どもとの交流会を実施して地域のふれあいを図った。
 - ・茶話会（年1回）
町内会館を利用して食事会やゲーム等をした。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
ひとり暮らし高齢者等の安否確認や心配ごとの把握につながり、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 60人)
- 目的 地域の支え合い・孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者・障がい者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
 - ・生活支援活動
ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状

況把握に努め、相談ごとや家事に関する生活支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

静和町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	102
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数5人)

●目的 福祉委員活動における情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び情報交換を行った。

・福祉通信「元気会だより」の発行

福祉委員・民生委員児童委員の紹介、福祉情報・行事等のスナップ写真を掲載し周知を図った。

・千歳市社会福祉大会参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化となり、福祉活動がスムーズに進められ、福祉活動に対する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 65歳以上の高齢者
(対象者数78人)

●目的 高齢者世帯の状況把握

●実施事業

・高齢者名簿の作成

65歳以上の高齢者世帯を把握して必要に応じて見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

高齢者世帯の状況把握により見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 7回

●対象者 65歳以上の高齢者(対象者78人)
サロンは町内会全員

●目的 孤立化防止のための親睦と交流
地域のつながりづくり

●実施事業

・日帰りバス旅行

夕張市、岩見沢市、栗山町等の見学を行った。

・秋のつどい

講師を招いて絵手紙体験を行った。

・町内合同による新年会

・春のつどい

ボーリング大会を実施し、ゲーム後は会館で会食を行った。

・ふれあいサロン

おしゃべり、レクリエーション、軽食などで過ごした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

計画では近郊見学を予定していたが、天候等により中止し、講師を招いて絵手紙体験にチャレンジして楽しい交流ができた。

春のつどいの「ボーリング大会」は男性が積極的に参加した。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 65 歳以上の高齢者
(対象者数 78 人)
- 目的 安否確認と孤立防止
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動年間を通じて行事案内の配布時に訪問し、安否確認と現況把握に努めた。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員
- 事業成果 会話を通じ健康状況等の確認ができ、孤立防止につながった。

あずさ町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	708
--------	------	-----	-----

1 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 要支援世帯の把握
- 実施事業 町内会員の独居老人及び高齢者・障がい者の把握。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員、老人クラブ
- 事業成果 老人クラブ及び同好会に参加している方の把握により、生活状況・健康状態を知ることにつながった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 1 回
- 対象者 高齢者(70 歳以上)
- 目的 高齢者の仲間づくり

●実施事業

- ・敬老会(年 1 回)
70 歳以上の高齢者を招いて食事会やゲーム、カラオケ等を行った。(参加 63 名)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

高齢者の安否確認や健康状態の把握ができた。
参加者同士の仲間づくりにつながった。
高齢者の閉じこもり防止につながった。

富丘 1 丁目南町内会

福祉委員人数	2 人	世帯数	84
--------	-----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者(対象者数 13 人)
- 目的 被支援者との日常の意思疎通及び信頼関係の保持
- 実施事業
 - ・会食
ひとり暮らし高齢者との会食の機会提供や給食提供による交流を実施した。
 - ・安否確認
ひとり暮らし高齢者・障がい者への声かけと安否確認を実施した。
 - ・危険予防
氷柱などの危害予防の気配りを行った。
 - ・除雪支援活動
冬期間避難経路維持のため、除雪支援活動及び支援担当者を確保した。
 - ・実態調査
高齢者世帯の実態調査を実施した。
- 事業成果 民生委員、福祉部及び女性部の委員が定期的に被支援者を訪問したことにより、問題発生時その都度、解決できており、特に大きな問題もなく順調に推移した。

富丘 1 丁目町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	280
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 該当者に対して年 2 ～ 3 回
- 対 象 者 ひとり暮らし高齢者
障がい者世帯（対象数 25 世帯）
- 目 的 該当世帯の把握と支援
- 実施事業
 - ・訪問、調査

福祉委員が該当世帯を随時訪問し、異常の有無を把握した。また、非常時に備えて救助マップを作成した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
該当世帯の安否確認や健康状態、心配ごとなどの把握につながり、相談ごとなどについては民生委員の協力を得て行うようにした。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回（80 歳の高齢者に対しては 11 回）
- 対 象 者 65 歳以上高齢者（対象者数 25 人）
75 歳以上高齢者（対象者数 42 人）
80 歳の高齢者（対象者数 11 人）
- 目 的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
長寿のお祝いと近況把握
- 実施事業
 - ・日帰り旅行（南幌温泉）
高齢者を一日温泉旅行に招待した。
 - ・敬老会
該当者に担当福祉委員が訪問し、祝文と祝い品を直接本人に手渡し長寿のお祝いと近況を伺った。
- 連携・協力機関及び団体
町内会役員
- 事業成果

該当する高齢者の安否確認や健康状態の把握につながった。参加者同士の交流・親睦につながり、高齢者の閉じこもり防止に役立った。

富丘 2 丁目町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	240
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10 回
- 対 象 者 町内会長・福祉関係役員・福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 12 人)
- 目 的 福祉活動における情報交換・共有・広報・資質向上等
- 実施事業
 - ・福祉委員会（隔月毎 1 回）
福祉活動、事業等の協議、検討とともに、対象世帯の情報資料の共有、活動上の問題点等の情報交換を行った。
 - ・福祉研修会への参加
福祉に関する研修会等に参加し資質の研鑽に努めた。
 - ・福祉関連行事の広報
対象者宅を訪問し行事案内の配付と参加の勧誘を行いながら、現状把握に努めている。「町内会だより」を活用して、福祉関連行事の案内及び実施結果を掲載した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会
- 事業成果
地域の福祉活動を円滑に実践するため町内会関係役員、福祉委員、民生委員児童委員が連携し地域に住む人達の理解と協力を得ながら継続的に進めている。
地域福祉活動の資質向上のため研修会参加を奨励し、成果を活動に繋げている。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者等
(対象者数 27 人)

- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯一覧表の更新(修正)

支援を必要とするひとり暮らし高齢者等世帯の現況を把握し、一覧表を常に最新の状況に更新して福祉委員等に情報等を提供し日常の福祉活動に活用している。

- ・福祉マップの更新（修正）

対象世帯のを記入した展開図を修正し、町内会関係役員及び福祉委員等に配布し、日常の福祉活動や災害時等に備えている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

要支援世帯等の状況把握が容易となり、日常の見守り・声かけ、地域近隣住人からの協力による情報等に基づき、状況確認が円滑に行えるようになった。

福祉マップは災害時等における備えとしている。

ひとり暮らし高齢者との昼食会を実施し。懇談、ゲーム、余興等を行った。

- ・ラジオ体操（10 日間）

子どもたちの夏休み期間に高齢者や会員、暢寿園利用者等が参加してラジオ体操を実施した。

- ・七夕まつり（1 回）

児童、高齢者、会員及び暢寿園利用者が参加して実施した。

- ・子供神輿（年 1 回）

子供、会員等により長寿園内を巡回した。

- ・敬老会・日帰り旅行による懇親会（各年 1 回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等が、地域の人々との交流の中で仲間づくりとふれあいを深めることができた。交流の機会を多くすることで、閉じこもり防止につながった。



3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 17 回
- 対象者 高齢者・障がい者・児童
(対象者 130 人)
- 目的 高齢者等の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあいサロン（1 回）

出前講座で「スポーツ吹き矢」を実施した。

- ・お楽しみ交流会（1 回）

子供たちの夏休みに合わせ、ゲーム、レクリエーション、お楽しみ抽選会などを高齢者と実施し交流を深めた。

- ・お楽しみ昼食会（1 回）

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者
(対象者数 27 人)
- 目的 孤立防止につなげる地域の支え合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ

ひとり暮らし高齢者等世帯に対して、日常的な見守りと随時訪問による生活の変化や安否確認を行い生活状況の把握に努めた。

近隣住民の協力により継続的な見守りを行っている。

・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者・障害者世帯等の状況把握に努め、健康や生活相談にも対応し、信頼と不安解消につなげている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

対象世帯に対する見守り、声かけは、機会あるごとに実施し、地域一体となって孤立防止につなげている。

生活支援では、困りごと相談に細やかに対応し信頼につなげている。

継続的な支援活動については民生委員児童委員との連携に努めている。

富丘3丁目南町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	260
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員・女性部他
(対象者数 25人)

●目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

・福祉委員会、女性部合同研修会

年間及び月間行事・事業の概要検討と推進、日常の小さな情報でも研修会で発表して、情報の共有化を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び女性部部員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 21回

●対象者 高齢者・子ども・役員・福祉委員
女性部ほか
(対象者数 240人)

●目的 仲間づくり、地域つながりづくり

●実施事業

・いどばた交流会（毎月1回）

おしゃべりやお茶会を実施し、老人施設に寄贈する清拭（多目的タオル等）を縫った。

・ひとり暮らし高齢者へ暑中見舞い・年賀状発送し大変喜ばれた。

・すこやかラジオ体操と花火遊び（6日間）

ラジオ体操を実施し、最終日の夕方から花火やスイカ割りで世代間交流をおこなった。

・女性会員日帰り温泉バス旅行（年1回）

温泉施設の利用で親睦を深めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

参加者同士の近隣のつながり作りに効果があった。

福祉委員及び女性部との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

富丘3丁目北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	181
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 20回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 30人)

●目的 連帯意識の高揚と支え合い精神の醸成

●実施事業

・福祉委員会

毎月定例福祉委員会を開催し、活動状況を報告しあい、福祉活動の協議・対応策・問題点等を共有した。

- ・「今日から」の各戸配付

福祉委員が各戸に配付し、状況の変化等を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員・民生委員との連携強化になり福祉活動の活発化につながった。

福祉活動に対する関心が高まり浸透しつつある。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・ひとり暮らし世帯（対象者数 20 人）

●目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り孤独死防止につなげる。

●実施事業

- ・要支援世帯台帳作成（更新）

高齢者世帯・障がい者・ひとり暮らし高齢者世帯等の状況を把握するため、福祉委員会で、要支援世帯台帳を作成（更新）し、状況に応じた見守りや声かけを行った。

- ・募金の回収

区長・班長が募金の回収に各世帯に伺う時に合わせて要支援世帯の状況変化を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守り・声掛け訪問が円滑に行われるようになった。福祉委員としての自覚向上につながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2 回

●対象者 75 歳以上の高齢者・子どもとその

両親（対象者数 120 人）

●目的 町内会に対する長年の功績への感謝・長寿の祝い・親睦交流餅つきを通しての異世代交流

●実施事業

- ・敬老会

町内会館改修のため 75 歳以上の方全員に記念品を届けた。

- ・ふれあい餅つき交流会（1 回）

小学生以下の子供、幼児と両親を招いて伝統的な餅つきを経験してもらい地域とのふれあい交流を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

高齢者の方々には大変喜ばれ、町内会への理解も深まった。子どもと、子育て世代にも餅つき経験は大変喜ばれた。

富丘 4 丁目東町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	230
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 15 回前後

●対象者 町内会長・役員・福祉委員（対象者数 15 人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換

●実施事業

役員、福祉委員、民生委員と連携してひとり暮らし高齢者への声かけ運動の実施と買い物などの支援を行った。救急カードの配付。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員と民生委員との連携強化につながった。自分で買い物に行けない方に大変喜ばれた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 20 回前後
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢世帯障がい者世帯
(対象者数 25 人)
- 目的 冬期間、安心・安全に暮らせるようにすること及び安否確認
- 実施事業
 - ・除雪支援活動(11 月下旬～3 月)
ひとり暮らし高齢者、高齢世帯、障がい者世帯を調査し、除雪支援を行った。
- 連携・協力機関及び団体
町内役員・会員
- 事業成果
高齢者の方は喜んでいるが、町内会自体の高齢化が進み支援の継続が心配となっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4 回 他事業に応じて
- 対象者 会員、高齢者、女性部、子ども
(対象者数 130 人)
- 目的 会員相互の親睦を図る
地域の繋がりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあい日帰り旅行（年 1 回）
温泉施設を利用して、食事やゲーム等で会員・高齢者との交流を深め、福祉活動への協力をお願いした。
 - ・女性部バス研修（年 1 回）
工場見学や果物狩等の後、温泉施設での入浴・食事の後、会員との交流を図った。
 - ・餅つき大会（年 1 回）
 - ・夏休みラジオ体操（夏休み期間）
 - ・敬老会（年 1 回）
 - ・ふれあいサロン
町内会館を利用して、出前講座、ゲーム、食事、懇談等で会員との交流を図った。
 - ・いきいき百歳体操参加
 - ・救急カード配付（127 世帯）

●事業成果

高齢者が多く旅行などの参加者は大変喜んでいる。餅つき大会では、高齢者と子どもたちが楽しそうに餅つきを行い、親睦を図ることができた。
敬老会は 2 回目で、初めて参加したかたもいて楽しく行うことができた。
体操は高齢者の体力向上に繋がり、終了後の茶話会では楽しく交流できた。

富丘西町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	160
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4 回
- 対象者 町内会長・民生委員・福祉委員総務（対象者数 7 人）
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換・共有
- 実施事業
 - ・福祉委員会（年 4 回）
福祉活動の協議・検討、ひとり暮らし高齢者の情報交換、課題の共有を図った。
- 事業成果
独居高齢者の安否確認についての報告や町内会行事の支援活動について検討及び報告を行った。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 6 回
- 対象者 高齢者（対象者数 18 人）
- 目的 ひとり暮らしの高齢者宅訪問・見守り・声かけ
- 実施事業
 - ・ひとり暮らし高齢者宅訪問・見守り・声かけ
高齢者宅訪問で、上手くいった事例内容の報告により、訪問方法の検討や協議を行った。
高齢者の健康状態や身内（娘、息子）等の状

況の情報交換を行った。

●事業成果

訪問を喜んでくれる人と苦手な人がいるので、夜間の電気や新聞受けなどで安否確認している。また、元気な高齢者には町内会の行事に積極的に参加してもらうよう努めた。回覧板は手渡しして安否確認を行った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会員
(対象者数 35人)

●目的 会員相互の融和親睦交流を深める

●実施事業

・ふれあい日帰り旅行

全世帯を対象として参加希望者を募集し、団体行動で高齢者等に支援・協力する。食事会・宴会(余興等)で親睦を図る。

・交流会

定期総会終了後交流会を実施。飲食歓談等、会員相互の融和・親睦交流を深めた。

●事業成果

恒例となっている「日帰り旅行」は、参加者も増え、車中での話に花が咲き、宴会のカラオケでは懐かしい歌等で盛り上がり、楽しい一日を過ごした。定期総会後の交流会では、和やかに近況やお互いの健康について話し合い、楽しいひと時を過ごすことができた。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 1回(除雪は降雪時)

●対象者 80歳以上高齢者(対象者44人)
ひとり暮らし高齢者(対象8人)

●目的 ひとり暮らし高齢者の除雪支援
ささやかなプレゼント

●実施事業

・ささやかなプレゼント

喜ぶ顔を見ながら高齢者の方から情報収集

(健康状態・悩み事等)をした。

・除雪支援活動(12月～3月)

民生委員と福祉部長が調整して除雪支援者を選定し、実施計画書を策定した。市から借りた機械による除雪を取り組み、道路幅を広くし運転手や歩行者の安全を確保した。

●事業成果

高齢者宅の除雪支援により町内会員間で助け合いの団結力が強まった。また、高齢者の安否確認ができた。高齢者の除雪費負担の心配がなく、安心して生活ができた。

町内会も高齢化するとともに、支援者が増えていくが支援協力者が少なく、確保が難しいため町内会活動による支援活動はますます難しくなると考えられる。

末広東町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	560
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 12回

●対象者 町内会役員・民生委員・福祉委員
(対象者数 30人)

●目的 地域福祉の推進

●実施事業

・福祉会議(月1回)

毎月の例会時に、役員が出席した福祉関係会議及び研修の報告を行うとともに、ひとり暮らし高齢者、障がい者等の情報の共有化を図り、必要により支援のあり方等について検討した。

●事業成果

情報の共有化を図ることができた。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 4回

●対象者 町内会員等、70歳以上高齢者
一人暮らし高齢者及び子ども

- **目的** 幅広い年代層で健康増進と会員間の世代交流、長寿のお祝い
日本伝統の食文化の伝承と交流

●実施事業

- ・ミニ運動会と懇親会(末広東公園・1回)

ミニ運動会は、子どもから高齢者までが集い、パン食い競争や紅白玉入れなど、世代を越えて皆が楽しめる競技を行った。ミニ運動会の終了後、引き続き会場で女性部が中心となり準備したジギスカン等の昼食を皆で摂りながら参加者間の交流を図った。ミニ運動会、懇親会のいずれも明るく楽しい雰囲気の中で行われた。

- ・町内高齢者誕生会(町内会館・2回、対象者95名)

老人クラブと協力し、4月～9月生まれの方と10月～3月生まれの方を主賓として招き開催した。福祉委員が分散して声がけと安否確認を兼ねて対象者宅を訪問するなど案内を行った。市販の弁当のほか、女性部が作った温かい手料理を摂りながら、余興やカラオケ等で楽しく交流を深めた。

- ・世代間交流餅つき大会(町内会館・1回)

餅つきに合わせて、高齢の会員が子ども達に餅のつき方と作り方等を伝え、一緒に食事をする事で世代間の交流を図った。欠席した高齢者等の会員には餅を自宅に届けながら安否確認を行った。

●事業成果

地域住民の交流により輪が広がり、つながりづくりに効果があった。餅つきなどを通して世代間交流が図られ、スムーズな見守り活動を行うことができるようになった。

末広中区町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	400
--------	----	-----	-----

1 交流活動(ふれあい・語らい)

- **実施回数** 3回
- **対象者** 75歳以上高齢者(対象者80人)
65歳以上独居高齢者(対象者30人)
除雪支援の方達

●実施事業

- ・敬老会(参加者35名)
高齢の方々に敬意を表すために食事・ゲーム等を行い、互いに語らいふれあいをもっていた。

- ・昼食会(参加者21名)
例年同様に独居高齢者の皆様を対象として、食事会を実施してお互いの親睦を深めた。

- ・除雪慰労会(3月1回)
除雪支援の担い手の皆様の慰労並びに反省会を実施し、併せて情報交換等を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

花園町内会

福祉委員人数	17人	世帯数	1100
--------	-----	-----	------

1 調査活動(実態把握)

- **実施回数** 通年
- **対象者** ひとり暮らし高齢者等
(対象者数120人)

- **目的** ひとり暮らし高齢者等の実態把握

●実施事業

- ・資料の更新
町内のひとり暮らしの高齢者・障がい者等の要援護者・世帯の実態を調査・把握し、随時資料の更新を行い、地域での見守り等の体制づくりの資料として活用している。

●事業成果

日頃から要援護者の実態を正確に把握していることで、平常時・災害時に対応でき、見守り体制等の確立もできる。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者・現役と子ども達の三世代
70歳以上高齢者
- 目的 三世代間交流を行うこと
高齢者の長寿を祝い交流する
- 実施事業
 - ・三世代交流「餅つき大会」（7月1回）
臼と杵での餅つきで、子ども達も餅をついたり丸めたりして、楽しく三世代間の交流を図り約200名の参加があった。
 - ・敬老会（10月1回）
高齢者の長寿を祝い、懇親・交流を図り、アクション・食事を楽しんだ。約90名の参加があった。
- 事業成果
三世代の交流・親睦が図られ、敬老会では大変盛り上がり楽しいひと時となった。

高台町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	435
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数15人)
- 目的 各福祉事業に対する研修及び福祉活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上を図る
- 実施事業
 - ・福祉委員会
年間福祉事業計画の協議・検討・実行
福祉活動の情報交換・情報の共有
 - ・福祉研修会
新任福祉委員の研修
災害時要援護者避難支援プラン個別計画の

拡充

福祉施設・防災センターの見学、研修

- 事業成果
福祉委員、民生・児童委員間の連携が図られ、計画した福祉事業が展開でき、福祉活動への興味・関心が高まり、研修などを通じて一層の資質の向上が図られた。
福祉委員が不足しているため育成が必要である。また委員長等が不在の場合の定例会の開催を検討する。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・独居・障がい者等
(対象者数150人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯台帳及び福祉マップの作成（更新）
見守り世帯の個別台帳を更新するため、再調査の方法や個別台帳作成のための情報共有・協議を行った。
- 事業成果
災害時要援護者避難支援プラン個別計画作成は昨年で完了したが、支援要請者が14名と少なく、今後は追加支援要請者の把握について調査・検討していく必要がある。また、見守り世帯の把握が十分徹底できなかったことから、継続して調査を実施する。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども・会員
(対象者数400人)
- 目的 高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間作り、世代間交流
- 実施事業
 - ・高台夏祭り・盆踊り（1回 延400名）
昭和35年から実施している町内最大の行事で、高齢者の孤立防止、仲間づくり、世代間交

流を図った。

- ・高台ふれあいデー（3月1回 26名参加）
平成21年から高齢者との茶話会を実施し、25年からは手話の受講、28年度はうどん打ち体験などを行い、高齢者と子供たちとのコミュニケーションを図り交流を深めた。
- ・敬老と感謝の集い（10月 51名参加）
平成26年から復活した事業で、高齢者の孤立防止、仲間作りを図った。
- ・ふれあい餅つき（12月 43名参加）
子ども達の思い出作りと高齢者から子ども達へ、餅の作り方を伝授し、世代間交流を図った。12月に子ども会から鏡餅を市長に贈呈した。
- ・新年会（1月1回）
花園コミセンにて73名の参加を得て開催し、世代間交流、仲間づくり、孤立防止を図った。

●事業成果

いずれの事業も高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を主眼に実施しており、楽しく仲間づくりやコミュニケーションが図られた。今年の高台ふれあいデーは1回の開催にとどまり、年間2～3回程度の開催を目指したい。

稲穂町内会

福祉委員人数	39人	世帯数	632
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者36人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（年5回）
福祉活動の協議・検討及びひとり暮らし見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

- ・福祉研修会（懇談会）の実施（1回）
市の出前講座を利用し、健康維持等に関する研修会を行った。

●連携・協力期間及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化及び意思の疎通につながり、町内の福祉活動が円滑に進められた。

福祉研修会では、町内の老人クラブ「寿会」と連携を図ることで参加率が向上し、健康問題等に関する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数292人)
- 目的 高齢者世帯等の状況把握
- 実施事業

- ・高齢者等名簿の作成（更新）

ひとり暮らし高齢者世帯（65歳以上）、70歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯の状況を把握するため、高齢者等名簿を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

- ・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

高齢者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども会
(対象者数86人)

- **目 的** 高齢者の孤立防止と三世代による地域のつながりづくり

●実施事業

- ・三世代交流会（1回）

敬老の日になみ、大正・昭和・平成生まれの三世代による交流会を行い、会食・芸能（舞踊等）発表・室内ゲーム・歌謡発表等を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態心配ごとの把握につながった。また、参加者同士の交流により近隣のつながりづくり、高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- **実施回数** 年間を通じて実施

- **対 象 者** 高齢者・障がい者
(対象者数 29 人)

- **目 的** 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・誕生祝い贈呈、見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者に対し誕生祝の贈呈の際、見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

- ・安否確認組織図の作成（更新）

地震等が発生した場合のひとり暮らし高齢者世帯の安否確認担当者を決め、連絡・確認手段を確立した。

- ・除雪支援活動

ひとり暮らし高齢者等、必要な世帯に対して冬の除雪支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域とのつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

清流町内会

福祉委員人数	23 人	世帯数	1300
--------	------	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

- **実施回数** 5 回

- **対 象 者** 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 23 人)

- **目 的** 福祉委員活動での情報交換・共有、識見向上を図る

●実施事業

- ・福祉委員会（定例会議ほか）

担当地区の活動の情報交換、問題点の討議、福祉の現状などについて情報共有した。

福祉マップのチェックを行った。

- ・福祉研修会などへの参加

上級機関（市・社協）主催の研修会や講座（地域懇談会、ちとせ福祉フォーラムなど）へ参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・老人クラブは「清流親和会」と連携。

●事業成果

出欠委員の偏りがあり、出席率は8割強。

日常活動（見守り）や町内行事（夏祭り・もちつき大会・敬老会など）への委員の参加協力が得られ委員としての自覚が高まった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- **実施回数** 8 回

- **対 象 者** 高齢者（65 歳以上）
(対象者数 180 人)

- **目 的** ひきこもり、認知症の予防
仲間とのふれあい

●実施事業

- ・ふれあいせりゅう（年6回）

おしゃべりを中心にお茶とお菓子で2時間

余りを過ごす。百人一首、軽い体操、頭の体操（漢字、ことわざなど）などで笑顔の時間を過ごした。

・敬老会（年1回）

毎年実施。10月に実施し、会食・余興・ビンゴゲーム（景品付）等を行い、63名の参加があった。

・ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回）

町内行事の「もちつき大会」に参加してもらい、つくたて餅の雑煮、を用意した。高齢者が子ども達や若い世代に餅つきの手伝いや餅の丸め方等を教え、子どもたちや若い奥さんたちと交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ（親和会）

●事業成果

サロン活動は定着してきた。参加人数は増減なし。高齢者の居場所づくりは小地域でも必須であり、高齢者の笑顔とふれあいがうれしい。趣向を凝らしサロン活動を継続したい。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者
（対象者数40人）

●目的 ひとり暮らし高齢者の引きこもりと孤立・認知症予防
困り事・悩み事（病気など）の発見と相談

●実施事業

・見守り、声かけ活動

基本的な日常活動で、特にひとり暮らし高齢者（障がい者）宅への訪問を中心に行った。安否確認と緊急連絡先（娘、息子）救急カードなどの状況把握を実施。

・ひとり暮らし高齢者宅訪問、食事会

町内会の「もちつき大会」と連動して、自宅訪問、食事会への参加。自宅訪問では、つくたて餅とクリスマスプレゼントを届け喜ばれている。この時、本人の近況や除雪などの相談に

のり、感謝、喜ばれている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会、地域包括支援センター

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の、孤立・引きこもり・認知症などの防止策となり。安否確認や本人と離れて暮らす娘、息子の所在などの聴き取りで、緊急時の対応にも役立っている。

青葉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	70
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回（見守り隊は通年）

●対象者 町内会員（65歳以上・児童）

●目的 住民同士の交流と支え合いの場づくり
学童の登校時の交通安全

●実施事業

・新年会（参加者28名）

女性部の手料理を食べながら、会員同士の交流を計った。

・夏祭り（参加者22名）

女性部手作りの料理を味わいながらゲームやカラオケを楽しみ、交流を深めた。

・子ども神輿（参加者46名）

子ども神輿で町内の各家庭を訪問し、近況を把握した。

・学童の見守り

見守り隊を編成して学童の通学時に安全指導を行った。

・敬老会（参加者31名）

敬老の日に本年度初めて敬老会を実施した。不参加者に対しては、記念品を持って個別訪問し、近況を把握した。

・その他、文化体育祭、夏休みラジオ体操、いきいき百歳体操などを実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・介護予防センター・地域町内会

●事業成果

高齢者や会員に交流の場を提供し、町内会の融和・親睦が図られた。また、不審者の発見やいじめの防止にもつながった。

青葉3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 15回

●対象者 町内会長・福祉委員ほか
(対象者数5人)

●目的 対象者を訪問し、近況の把握と関係者の情報共有化

●実施事業

・定期的訪問

健康状態の聴き取りや生活上の意見集約を実施した。

・情報の共有化

関係役員との意見交換を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員、民生委員との連携強化につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者等・障がい者
(対象者数10人)

●目的 要支援者の把握

●実施事業

対象世帯の割り出しを行い、訪問と聞き取りを実施した。

民生委員との意見交換や町内会議での周知・意

見交換を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会役員

●事業成果

福祉希望者の把握が可能になり、他の会員にも福祉の重要性を再認識させることができる。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 独居老人（対象者数20人）

●目的 家庭的な雰囲気での交流により孤独感を忘れてもらう

●実施事業

・ひとり暮らし高齢者との食事会等

茶話会（2回）、食事会（2回）

・交流会

町内会行事へ参加（パークゴルフ、夏祭り、敬老会、新年会等）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

各種行事を通じて、地域に住む連帯感がつながった。また、日頃の生活状況の把握にもつながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 独居老人（対象者数4人）

●目的 地域の支え合い、高齢者の孤立防止

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

・お祝いお届け

町内会の行事に合わせ、差し入れをしたり、誕生日にはお祝いを届けた。

・生活の手伝い（除雪等）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会会員有志

●事業成果

支援したことで他の会員の模範となり、会員としてのきずなが醸成された。その後のコミュニケーションが図られるようになった。

青葉4丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	41
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者、障がい者、子供（対象者数40人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあい日帰り旅行

温泉施設の利用を通じて入浴、飲食、ゲーム等で体を癒し、疲れを取った。帰りには道の駅でお土産を購入し、楽しみながら会員間の融和と交流を深め、併せて高齢者世帯の現状把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会

●事業成果

事業の目的を十分に活用・把握ができ、会員も満足し、大変有意義で成功した。

青葉6丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	116
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 20回
- 対象者 高齢者・障害者（対象者数40人）
- 目的 地域の支え合い
- 実施事業

- ・見守り、声かけ活動

一人暮らしの高齢者に対して日常的見守り・声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

委員同士の連帯強化に繋がり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数30人）
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・福祉マップの更新（更新）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

日頃の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 15回
- 対象者 高齢者、子供（対象者数100人）
- 目的 地域のつながり

●実施事業

- ・老人クラブ「きらく会」

- ・お楽しみ交流会

夏祭り、バーベキュー、レクレーション等。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

行事を通じて楽しく活動ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数23人）

●目的 孤立防止。

●実施事業

・見守り、声かけ活動。

・除雪支援

ひとり暮らし家庭の除雪支援を実施。

・クリスマスプレゼント

70歳以上の高齢者に花をプレゼントした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員、老人クラブ

●事業成果

高齢者等の孤立防止になった。

青葉丘町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	178
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 町内会会員・高齢者
(対象者数 100人)

●目的 三世代の交流、こども同士のふれあい、地域のつながり

●実施事業

・子ども樽神輿（1回）

こども同士やお母さん方の交流の場になった。

・ふれあい屋外会食会（1回）

屋外バーベキューを通して、会員同士の交流を図るとともに、隣近所の誘い合いを通して、近況の確認と高齢者の出無精等の解消になった。

・高齢者等ふれあい会食会（1回）

食事会・ゲーム・カラオケ等で親睦を深めるとともに、出席できなかった80歳以上の高齢者宅へ食事を届け、近況の把握を行った。また、救急カード更新確認とカード事業の継続と推進に努めた。

・ふれあい餅つき（1回）

高齢者が持っている特技を若いお母さんや

子ども達に、体験を通じて伝え、交流を図った。
また、福祉委員と民生児童委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問し餅や赤飯を届け、近況を把握した。

・ふれあい日帰り旅行

心や体をリフレッシュし会員交流を図った。

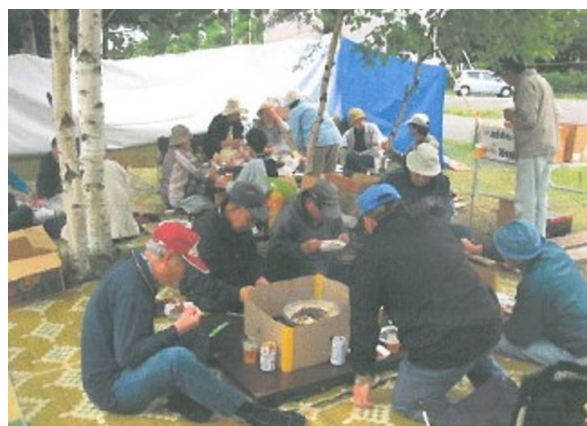
●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・女性部・福祉委員会

●事業成果

高齢者相互の親睦と安否確認につながり、参加者間の交流が深められた。

また、高齢者等ふれあい会食出欠確認時に、救急カード更新状況確認等を進めることができた。



2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者（対象者数 80人）

●目的 民生委員児童委員、福祉委員
女性部間の情報の共有。

●実施事業

・訪問、電話活動、福祉情報のお知らせ

行事への出欠確認時に困りごとや健康状態を確認することができた。高齢者を対象とした行事開催時に、近況を把握し、救急カードの更新確認と事業の促進ができた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員会。女性部

●事業成果

高齢者対象行事等の出欠確認時に、会話から近況を把握することができた。

住吉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数10人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質の向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（7回）
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に対する情報交換、課題の共有を行った。
 - ・「福祉委員会だより」発行（5回）
福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉ふれあいサロン、地域福祉懇談会等の開催案内。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数11人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯台帳の作成（更新）
日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。
 - ・福祉マップの作成（更新）
高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握

し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により、日常的に見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 11回
- 対象者 高齢者（対象者数40人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながり
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン（7回）
おしゃべりや食事会、レクリエーション、カラオケ、カーリンコン等。
 - ・福祉研修会（懇談会）（4回）
市の出前講座による健康に関する講話と疾病予防に関する勉強会を開催。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・市役所
- 事業成果
ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。
参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数11人)
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成
を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者世帯等に対して、日常的

な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

- ・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努めた。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

- 事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。生活上の困りごとの相談や細やかな支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。

住吉北町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	260
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数 16人）
- 目的 福祉委員会会同において役員間の情報交換・共有、資質の向上

- 実施事業

- ・福祉委員会会同

行事・活動内容を協議検討し、特に独居者・障がいのある方に対する情報を交換して、実情を把握。また研修会参加の普及教育を実施した。

- ・情報の供給

高齢者に対し、詐欺等の情報をその都度知らせて被害防止に努める。

- ・福祉研修会（講話）の実施

社会福祉協議会・包括支援センター等と連携して研修会を実施し、その他各種研修会に参加した。

- 事業成果

社会福祉協議会・市町連の開催する研修に積極

的に参加し、福祉委員会において普及教育を実施して情報を共有した。交流会活動を通じ新聞やテレビ等で報道されている特殊詐欺の実態や対策等の注意喚起を行った

また今年度は高齢者の運転事故が多くなっていることを強調。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者 100名）
- 目的 高齢者を把握して事後の支援体制を確立する

- 実施事業

- ・高齢者名簿の作成

65歳以上の高齢者を把握して現況を把握した。

- ・独居者の緊急連絡先の把握

独居者の不測の事態に備えた。

- 事業成果

近年高齢者が多くなり、またアパート入居者の個人情報等においては、把握が困難な面もあるが、町内会会員においては約70%把握できている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 30回
- 対象者 高齢者（対象者数 80人）
- 目的 高齢者・独居者と福祉委員会との交流及び高齢者相互の意思の疎通、さらに心身健康の維持

- 実施事業

- ・サロン活動（月2回）

睦会（老人クラブ）を主体に毎月2回例会を開き、カラオケ・囲碁・将棋等それぞれの得意分野において楽しみ、交流を図った。

- ・交流会の実施

独居者、伴侶を亡くされた方と福祉委員・民生委員児童委員と子供会との交流を行い、心身の一新を図った。

- ・日帰り旅行（1回）

町内会と共同で高齢者の気分転換を図るため実施した。

- ・餅つき、子供会との交流（1回）

日本古来からの伝統の餅つきを通じて子ども会との交流を行い、伝統の継承を図り高齢者に生き甲斐を与える。

- ・健康運動（3回）

パークゴルフや健康体操・室内ゲーム大会等を通じ、運動不足になりがちな高齢者の健康の維持増進を図り、各人の健康状態を把握した。

●事業成果

今年度は町内創立 50 周年記念行事のため、ふれあい行事は後半に集中。

交流会では子供たちとマジックショーなどを楽しみ、食事を共にして子どもたちと交流を図った。交流会は、気分転換を図ることができる最適の行事であるため、次年度以降も継続したい。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて

●対象者 独居者・障がい者（対象者数 35 人）

●目的 独居者・障がい者が安心して生活ができるよう支援する

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

担当を設けて、月に最低 2 回は訪問し、悩みごとや困りごとなどの情報収集を行い、解決策を見出す。また、話し相手をして気分転換を図り、安心して生活できるよう支援する。

- ・除雪支援（対象者 27 人）

冬期間除雪困難な方に、生活道路及び非常避難経路等を主体に、生活に支障のない程度に除雪支援を行い、安心・安全に生活できるようにした。

- ・家庭内の小さなお手伝い

相談ごとの相手、草取りや電球の交換等小さなことに対し、気軽に手伝いをした。

●事業成果

担当の独居者宅を定期的に回り、声かけを行い

世間話しながら状況を確認するとともに、情報を収集して会同時に報告、全委員が情報を共有しながら活動の幅を広げている。

廃材の撤去・ゴミ処分等清掃支援 3 件

住吉 4 丁目町内会

福祉委員人数	12 人	世帯数	390
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 14 回

●対象者 町内会長・町内役員・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数 14 人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議・検討をするとともに、見守り世帯に関する情報交換を行った。福祉委員会議を茶話会に併せて高齢者との交流を図り、詐欺被害防止など呼びかけを行った。

地域福祉に関する研修会に参加。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

福祉委員としての関心が高まり、委員としての資質向上につながり、若い方にも委員として活動してもらうことができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数 115 人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・介護を必要とする世帯の把握

要支援者の見守り・声かけ及び包括センターへの連絡と見守り、実態の把握に努めた。

高齢者、独居者が多く、孤立防止と寝たきりにならないよう、介護予防サロンへの参加を呼びかけた。

・救急カードの更新

町内会未加入者への呼びかけなどで家族構成を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター
福祉委員

●事業成果

要支援世帯、独居者世帯への訪問声かけなどで健康状態等把握ができ、老人クラブへの呼びかけにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 36 回

●対象者 高齢者・町内会会員
（対象者数 320 人）

●目的 高齢者の孤立防止、地域のつながりづくり、介護予防サロン

●実施事業

・春の福祉の集い（1 回）

高齢者と地域住民との交流を図るため、会食、ゲーム、カラオケ等を実施した。

・秋の福祉の集い（日帰り温泉旅行・1 回）

高齢者と町内会員との親睦と交流を図る。

・茶話会、介護予防サロン（毎週実施）

介護予防体操後のおしゃべり、脳トレ、カラオケ等で交流し、安否確認にもつながった。

定期的な体力測定も実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態心配ごとの話し合いで交流を図り、体力作りの大切さに理解を示すようになった、

高齢者や参加者同士の交流につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者数 115 人）

●目的 高齢者の孤立防止と地域の支え合い

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

見守り声かけ訪問等で、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

80 歳以上の高齢者、障がい者を支援する家族へ町内会から贈り物を届けた。

・除雪支援活動

除雪支援を必要とする高齢者・障がい者世帯、独居高齢者へ福祉委員の協力で行った。

・生活支援活動

高齢者や障がい者世帯へ資源物資の運搬支援をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員

●事業成果

福祉委員との協力で地域のつながりつくりと、高齢者の孤立防止につながった

安心して生活できる環境づくりができた。

住吉 5 丁目町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	139
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 11 回、介護予防体操 43 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
老人クラブ参加者
（対象者数 140 人）

●目的 委員活動における福祉委員、役員等との情報共有と資質向上

●実施事業

・福祉委員会（9 月祭日を除き毎月 1 回）

見守り世帯に関する委員相互の情報交換と共有、民生委員のアドバイスで活動を円滑に維持し、向上することができた。

・福祉だよりの発行（11回）

町内会の行事、社会福祉部の活動、福祉委員会の取り組み、市民だより、社会福祉協議会の福祉情報、民生児童委員会だより、コミセンだより、住吉・東郊連絡協議会だより、新聞、テレビ情報などを取り入れて福祉の啓発を図った。

・福祉研修会（懇談会）福祉問題の解決普及

老人クラブ等と連携し千歳学出前講座、介護予防体操を取り入れた懇談会研修会を実施して高齢者の生きがい、健康維持について勉強した。（11月12月3月、体操43回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉委員会により対象見守り世帯等の現況把握と関係者間の問題点・対策の共有ができた。出前講座、介護予防体操等に参加して、それぞれが高齢期の介護予防の重要性を認識した。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者世帯、障がい者・家族、町内会会員全員（対象者数140戸）

●目的 要支援世帯の最新状況把握
福祉マップ更新

●実施事業

・要支援世帯台帳の点検・更新

支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を適切に把握するため、要支援世帯台帳を確認し、追加者を市に通知し民生委員と支援担当者に通知し、見守り活動、声かけ活動に連携させた。

・救急カード事業に連携した見守りとカード情報の随時確認

28年度も高齢者世帯の増加で当地域も救急

車の出動事案が増加し、救急カードの活用があった。見守り訪問時、募金訪問等の際にカードの記録内容の確認と再配付を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

要支援者に対する現況の確認により、台帳データの更新と支援者状況を把握して関係先に通報し、非常災害の避難に備える住民の意識の維持と向上ができた。

救急カード記載事項の確認ができた。新規町内会加入者への配布ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 16回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
単身世帯（対象者数80人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

老人クラブと協働し、町内会館を利用しているいき百歳体操、ノルディック運動、合同レク活動、おしゃべり会、食事会などを行った。

・ひとり暮らし高齢者、単身世帯との懇談会・昼食会（2回）

対象者を招き、交流により困りごとや健康状態の把握に努めた。

・子供とのふれあい交流活動

子ども達の活動時に町内会役員等との交流を行い、餅つき、大掃除、ラジオ体操、通学時の見守り等を通してふれあい交流会を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

老人クラブと連携し出前講座の活用と健康体操、花壇作り、パークゴルフ大会等介護予防活動に取り組み、ふれあい交流が向上した。寿会未加

入者の勧誘を図った。

子どもたちと交流を図り、地域でのふれあいが一段と向上した

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者・単身世帯
全世帯（対象者数 150 人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成
を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、買い物や家事等の生活支援を行った。

・除雪支援活動

福祉委員と町内会支援者により、除雪困難世帯 6 世帯に除雪支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

福祉委員会により対象見守り世帯等の現状把握と関係者間の問題点・対策の共有ができた。

出前講座、介護予防体操等に参加してそれぞれが高齢期の介護予防の重要性を認識した。

東郊町内会

福祉委員人数	14 人	世帯数	540
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 13 人)
- 目的 福祉活動の計画協議・情報交換
- 実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議及び計画、高齢者・対象者の健康や生活状況等の情報交換を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 高齢者・独居高齢者
(対象者数 98 人)
- 目的 健康状況・生活状況の把握
- 実施事業

・訪問活動

福祉委員が分担して戸別訪問を行い、健康状況や生活状況の確認・把握と町内全体の見回りを実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者世帯、独居高齢者
(対象者数 98 人)
- 目的 高齢者間の交流親睦、生活状況の把握

●実施事業

・給食サービス（食事会）

福祉委員手作りの料理による食事会。ゲーム・カラオケなどで高齢者間の親睦交流を図った。

・ふれあいサロン（百歳体操等）支援

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

高齢者間の交流が増え会話も多くなった。

豊里町内会

福祉委員人数	21 人	世帯数	700
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会長・防災部長・民生委員児童委員・班長（対象者数 30 人）
- 目的 要援護者等の状況把握と救急カードの継続

●実施事業

- ・訪問数の多い福祉部と防災部、民生委員児童委員との連携を図った。
- ・福祉マップを活用。
- ・年末に民生委員と福祉部が高齢者宅を訪問。
- ・福祉部だより発行

福祉部の活動を理解してもらうために今年度より「つながり」を発行。高齢者（70 人）を対象とし見やすい紙面づくりをしている。訪問時に手渡しするなど工夫している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内防災部

●事業成果

継続した訪問により、信頼関係を深めている。何か困った時に相談しやすい環境をつくっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者世帯・町内会役員等（対象者数 150 人）
- 目的 お祝い行事を通じて交流

●実施事業

- ・敬老会

福祉部が主催し、食事会、ゲーム、また今年は中学校の合唱部等が参加して開催し、参加者同士の交流も図った。参加できなかった方には粗品を持って家庭訪問した。

- ・社会見学

福祉部主催で、町内会全員に参加を呼びかけて、さくらんぼ狩りを実施した。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

介護予防サロへの参加者が増えている。参加者の親睦交流が図られた。

あけぼの団地町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	182
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 10 回
- 対象者 福祉委員（対象者数 7 人）
- 目的 福祉委員会

●実施事業

- ・福祉に関する情報の共有
福祉対象者の状況・情報共有
- ・福祉部活動の協議
事業の実施検討及び実施後の成果確認
- ・福祉委員の資質向上
研修会、説明会等への参加・伝達
- ・福祉関連行事への参加
町内会・関連機関の行事

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

会議は月 1 回程度開催し、役割分担等を行い総てが委員自身の問題としてとらえている。反省点や改善事項も委員共通の問題として議論している。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7 回
- 対象者 福祉対象者（高齢者・高齢独居者・障がい者）
- 目的 映画鑑賞会

●実施事業

- ・映画鑑賞会（対象者 40 人）

高齢者や障がい者に外出の機会を確保する。
映画終了後食事会を行い、各種情報提供や注意を喚起している。

- ・日帰り旅行（参加人数 35 人）

福祉バスを利用して高齢者・高齢独居者・障がい者を対象として日帰り旅行をおこなった。

- ・敬老をお祝いする会（対象者 100 人）

75 歳以上の高齢者に対して「敬老の日」に連動したお祝いを実施した。

- ・福祉対象者の新年交礼会（対象者 20 人）

少人数の懇親会で参加者と福祉委員の疎通が図られ、活動が容易になっている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内ボランティア会員・施設職員

●事業成果

毎年楽しみにしている方が多く参加者同士、福祉委員ボランティア等との交流が図られている。その後の訪問活動なども容易になる。

日の出東町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	112
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 2 回

- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会三役（対象者数 8 人）

- 目的 福祉委員、民生委員児童委員を中心とした役員間の情報等共有

●実施事業

- ・福祉会議

各種行事前に開催し、行事の確認・協議・検討を実施するとともに、各種行事の参加・不参加等を把握し、高齢者・単身者・障がい者等の健康等の情報を共有した。

●事業成果

委員間の意志の疎通・情報の共有化を図り、地域福祉活動を円滑に推進できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年

- 対象者 全町内会員（対象者数 259 人）

- 目的 災害時における要支援世帯（者）及び日常の健康状況の把握等

●実施事業

- ・会員名簿の補備・修正（26 年度に作成）

新たに町内会加入した会員や世帯内の健康等の変化について把握し、災害時等に活用すべく補備・修正をし最新の状態に維持した。

●事業成果

要支援世帯（者）の把握ができ、敬老慰安会等の人員掌握等（年齢確認）にも活用できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回

- 対象者 高齢者（対象者数 57 人）

- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり

●実施事業

- ・敬老慰安会（高齢者参加者 11 名）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事をしながら演芸・カラオケ・ゲーム等を他の会員とともに楽しんだ。参加できなかった高齢者には、健康等の把握を兼ね福祉委員等が「記念品」を宅配した。

- ・餅つき（高齢者参加者 25 名）

伝統文化継承を兼ね、高齢者・子ども達を含めて餅の「つき方」・「丸め方」等を体験し、参加者全員で会食した。参加できなかった高齢者には健康等の把握を兼ね福祉委員等が「餅のパック詰め」を宅配した。

●事業成果

参加者全員が一体となり交流を深め、高齢者の孤立防止と仲間づくりができた。餅つきは若い家族の参加もあり、餅の「丸め方」「餡の詰め方」等を体験し、子どもたちは、初めての餅つきを楽

しんだ。

また、「餅のバック詰め」宅配は好評だった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 61 人)
- 目的 地域の支え合いと孤立防止を図る

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動
各班長が町内会費徴収や各種募金等で訪問の時に声かけを実施し、世帯・健康状況を把握した。
- ・高齢者への餅等の配布
敬老慰安会・もちつきに参加できなかった方々への「記念品」「餅のバック詰め」を宅配するとともに、健康状況等を把握した。
- ・除雪ボランティア
町内の 4 世帯に対して、各世帯 2 名のボランティアを配置して降雪に対応した。

●事業成果

福祉委員・班長等の情報により孤立死等もなく、地域の支え合いと孤立防止を図ることができた。

日の出北町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	140
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 福祉委員・町内会役員
民生委員児童委員
(対象者数 25 人)
- 目的 福祉活動における町内会役員、福祉委員及び民生委員児童委員との情報の共有並びに協力体制の強化を図る

●実施事業

- ・福祉委員会（毎月 1 回）
福祉活動の検討、災害時要援護者及び独居高齢者に関する情報交換を実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
情報を共有することにより、地域福祉活動が円滑に実施できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者及び障がい者世帯
(対象者数 40 人)
- 目的 要支援世帯等の状況把握並びに独居高齢者等の引きこもり防止を図る

●実施事業

- ・要支援世帯の把握
- ・独居高齢者に対する声かけ
- ・救急カードの更新及び普及活動

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

支援が必要な世帯を把握し、支援要領等を検討し支援者側の意思の疎通が図れた。見守りや声かけを日常的に実施することで、高齢者等の引きこもり防止が図れた。また、救急カードの設置確認により、特に高齢者の見守りが実施できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1 回
- 対象者 町内子ども会・両親・高齢者等
(対象者数 70 人)
- 目的 クリスマスパーティを通じて町内会会員相互及び幼児等との親睦を深め、子育ての一助とするとともに世代間交流を図る
- 実施事業

- ・クリスマスパーティ

子ども会中心でクリスマスケーキの作製とゲームを実施した。子ども、両親、高齢者の三世代間でパーティを行った。

●事業成果

各世代間の交流を通じて、子育て支援及び子ども達の健全育成・独居高齢者の孤立防止に寄与した。

梅ヶ丘1丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	104
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会会員（対象者数 301人）
- 目的 町内会会員のふれあい
- 実施事業

- ・昔の村祭り（参加者 68名）

誰でも参加しやすいよう参加費を1,000円とし、高校生以下及び70歳以上は無料で実施した。おでんや焼きそば、ビールに焼き鳥、子どもには焼きとうもろこし等を用意した。現役高校生の青少年部長の提案で流しソーメンを実施し、高齢者や子どもたちにも大人気だった。

子どもは恒例のスイカ割りを行い、割ったスイカは皆で「いただきます」。一大イベントの抽選会は、道産米のおぼろづき(10kg)が出たところで終了した。

●事業成果

参加者全員が名札を付けたので、会話がスムーズに運び、互いに町内会の人であることが理解され、「ふれあい」が深められた。

昨年、公園の四阿の上部に「納涼親睦会」の横断幕を設置し、村祭りの雰囲気盛り上げました。横断幕を背景にお婆ちゃんと孫が記念写真をパチリ。

旭ヶ丘町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	430
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 16人)
- 目的 福祉活動の情報交換、情報の共有、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会義（福祉委員）
福祉事業活動の細部計画の検討・打ち合せと、情報交換、課題等を協議した。
- ・福祉会同（2回）
役員・福祉委員・民生児童委員で情報交換、情報の共有を実施した。
- ・福祉研修会（懇談会等）
社会福祉協議会等の研修会に参加した。

●事業成果

福祉委員相互の連携のため、情報の共有化、活動の細部要領・成果の確認等次回実施への打合せを行った。特に高齢者の活動意欲の助長と実施間の安全等の配慮・目配り・気配り等の要領を話し合い委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年1回以上
- 対象者 救急・高齢者
- 目的 「救急カード」の見直し・確認をする

●実施事業

- ・「救急カード」の修正
救急カードの記入について説明し、修正を実施。訪問時に近況等の確認、家族状況等の変更を把握した。

●事業成果

町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの

修正と訪問時に家族状況の変更等を把握、災害時の要支援者等の把握につながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・町内会役員・障がい者等
- 目的 町内会パークゴルフ大会
ふれあいサロン

●実施事業

- ・パークゴルフ（年2回）（対象者50人）

大会終了後、現地で昼食（ジンギスカン）交流会を実施し参加者の親睦・交流を図った。

- ・ふれあいサロン（4回）（対象者数100人）

町内会館でおしゃべりや食事・レクリエーション等を行って高齢者等との交流を図った。

●事業成果

- ・町内会整備ののパークゴルフ場で春と秋に実施し、町内会員と高齢者との交流を行い。参加者間のつながりを持つことができた。
- ・介護予防いきいき百歳体操等を実施して高齢者間の交流を図った。健康増進の意識向上につながり、高齢者の閉じこもり防止につながっている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・障がい者
（対象者数11世帯）
- 目的 高齢者・障がい者宅除雪支援
年賀状による新年の挨拶

- ・除雪支援（3回）

事前に除雪支援者宅の状況を福祉委員・民生委員により細部調査を実施し、町内会会員からボランティアを募集し、10～15cm以上の降雪を基準に対象者宅を除雪した。

- ・年賀状送付（1回 70歳以上 150人）

福祉委員が担当地域の75歳以上の方へ年賀状で新年のあいさつを行った。担当ごとに自ら住所およびコメント等を手書きし、本年の挨拶

とした。

●事業成果

- ・除雪支援回数延べ217回述べ人員数228人

ボランティアが高齢化し募集が今後の課題となっている。

- ・年賀状送付は好評であり、ひとり暮らし世帯から感謝の言葉をいただいた。

弥生町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	720
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 17回
- 対象者 福祉委員（対象者数8人）
- 目的 福祉委員活動における委員間の情報交換、事業の企画・調整

●実施事業

- ・福祉委員定例会（月1回）

福祉活動計画と執行、委員間の情報交換・活動の分担、課題の共有を行った。

- ・研修会等への参加

地域福祉に関する研修会、フォーラムに参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 概ね70歳以上の高齢者及びひとり暮らし高齢者（対象者数170人）
- 目的 ふれあいを深め楽しみ、学びあい、生きがいをもつ

●実施事業

- ・ふれあいサロン（年3回）
歌声サロン、簡単な工作、ギター演奏で食事会を実施した。
- ・弥生町内会高齢者を囲む会（年1回）
70歳以上の高齢者を招待し、食事や余興を通して高齢者との交流を図った。
- ・ふれあい日帰り旅行（年1回）
温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢世帯等の現状の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。



3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- ・生活支援活動
ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、降雪時は除雪ボランティアと滑り止め用の砂利を配った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。

寿町内会

福祉委員人数	21人	世帯数	610
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 34回
- 対象者 町内会長・福祉委員・介護認定員
民生委員（対象者152人）
- 目的 各立場での情報交換、共有、周知
- 実施事業
 - ・福祉委員会（3ヶ月に1回）
福祉活動の協議・検討・情報交換・共有
活動報告・追加・修正。
 - ・研修会・小地域フォーラムへの参加
新任福祉委員研修会、介護予防リーダー等研修会・小地域フォーラム参加。
 - ・町内定例役員会（13回）
町内の情報収集、共有
 - ・交通安全見守り
学童への声かけ、誘導。
 - ・救急カード記載啓蒙。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ。町内会会長

●事業成果

問題点のリストアップで対応が早くでき、情報の共有にも役立った。研修会参加で福祉委員の知識を深めた。交通安全では新一年生への歩行指導ができた。救急カードの設置に理解いただけた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回（情報があつた時は随時）
- 対象者 町内全世帯
（高齢者、障がい者48人）
- 目的 見守り助け合いを広める。要支援者の把握
- 実施事業
・福祉マップ作成
対象者の福祉マップ作成、追加、修正。確認訪問で委員間の情報共有を図る。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
常時進行形の活動で、地域全体の見守り、助け合いが広がった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 20回
- 対象者 75歳以上・高齢者・障がい者
（対象者数679人）
- 目的 健康維持・体力向上、高齢者の集いの場提供。敬老。
- 実施事業
・介護予防体操・ふれあいサロン
いきいき百歳体操等の終了後、女性部の手料理をいただきながら近隣者の情報交換を行った。
- ・高齢者を囲む会（1回）
75歳以上の高齢者を対象に女性部の手料理などで敬老会を実施。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・介護予防リーダー認定員・町内会各関係者
- 事業成果
体操への継続出席により、効果を日常生活へ繋げている。高齢者の集いの場になり参加者同士の安否確認にもなった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 地域の支え合い・孤立防止
- 実施事業
・見守り、声かけ訪問
福祉委員で対象世帯を訪問し、現状把握と情報共有を行っている。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
ひとり暮らし等の高齢者の情報を共有。近所の見守り助け合いもあった。個人情報等の配慮についても再確認した。



幌加連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 12回
- 対象者 高齢者・障がい者
（対象者数26人）
- 目的 地区内の高齢者の交流、親睦向上と輪を広げる
- 実施事業
・ふれあいサロン（年3回）
食事会、レクリエーション、温泉旅行
・お楽しみ交流会（年5回）
ゲーム・食事会

・声かけ活動

ひとり暮らし高齢者の日常的な見守り・安全確認を行った

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

住民の協力で地域のつながりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。

協和連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	26
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 8回

●対象者 高齢者

●目的 高齢者の健康と親睦を図る

●実施事業

・月例会

高齢者の健康と親睦を図る。

●事業成果

高齢者の健康増進につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 8回

●対象者 高齢者・町内会会員
(対象者数 128人)

●目的 高齢者の健康増進と会員の親睦を図る

●実施事業

・月例会

月例会を主として、健康を語らい日帰りや一泊旅行等で親睦を図った。

・奉仕活動

公民館周辺の草取り等を、実施した。

・いきいき百歳体操参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

高齢者の健康増進や、会員の親睦が図れた。

新川連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	31
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 1回

●対象者 新川老人クラブ福祉委員
(対象者数 18人)

●目的 高齢者の親睦交流と認知症予防

●実施事業

・介護予防センターに依頼し、元気で健康についての講座を開催した。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・福祉委員

●事業成果

センターの方と楽しく話し合いができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 新川老人クラブ 福祉委員

●目的 清掃・花壇作り・事業計画作成

●実施事業

・道路回りの清掃・花壇作り（4回対象者 72人）

春と秋に清掃を行い、空き缶の回収などリサイクルに参加している。また環境と緑の財団から花の苗をいただき花壇づくりを楽しんでいる。

・事業計画づくり（2回 対象者 16人）

事業計画について話し合いを行っている。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会・連合会福祉委員

●事業成果

毎年ゴミの調査を実施。花壇づくりはコンクールに参加している。

東丘連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	50
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 60歳以上の高齢者
(対象者数 45人)
- 目的 高齢者の親睦の輪を広げる
- 実施事業
 - ・月例会
 - 4月 寿の家周辺の清掃及びお茶会
 - 6月 パークゴルフ大会及び反省会
 - 8月 東丘共同墓地清掃及び反省会
 - 10月 寿の家周辺の清掃と日帰り温泉
 - 12月 忘年会（ビンゴゲーム・カラオケ）
 - 2月 出前講座（交通安全教室）及びお茶会
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・婦人会
- 事業成果
会員の親睦を図り、近況報告等を話し合うことができてよかった。

支笏湖自治振興会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
 - 対象者 自治会役員・支笏湖小学校PTA役員・福祉委員・消防団役員
(対象者数 20人)
 - 実施事業
 - ・拡大福祉委員会
- 子ども達との交流事業や高齢者に対しての事業、さらには防災から住民を守るために組織されている消防団との連携による福祉関連事

業の打ち合わせ等を実施した。

●事業成果

福祉委員と地域団体との連携の強化につながり、消防団との連携も高齢者や子ども達の安全を考える上で大きな成果となった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 自治会員（対象者数 150人）
- 目的 地域住民の交流
- 実施事業
 - ・早朝清掃活動（4回）
小学生・老人クラブ・青年会・自治会等各種団体で清掃活動を行った。5月と9月は、支笏湖のまちづくり団体(NPO)が主催している国道453号線のゴミゼロキャンペーンにも連動し大々的に行った。
 - ・スポーツ交流会（1回）
支笏湖市民センター横の特設パークゴルフ場にて60歳以上の高齢者を中心に、支笏湖小学校の生徒とパークゴルフによるスポーツ交流を行い、26名の参加があった。
 - ・収穫祭（1回・28名）
子ども達が中心で育てたジャガイモ等でカレーライスをつくり、地域に住む高齢者を招待して一緒に会食をした。高齢者には支笏湖の昔の話を、子ども達からはクイズや手品などを披露し、ひと時を過ごした。

●事業成果

地域住民（特に高齢者）が支笏湖小学校の生徒とともに交流を重ねることは、地域全員で子どもを育てるという意識の向上だけではなく、子ども達の郷土愛も育まれ、さらには災害時におけるネットワークの強化にもつながっている。今年度は小学生の数も増え、過疎化の進む当地域において喜ばしいことであった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者（対象者数 20 人）
- 目的 ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯を中心に災害時の対策として

●実施事業

- ・見まわり、安全確認

各家を訪問し、自分達では出来ない作業（電球の交換、物の移動、物の修理など）を支援することに努めた。本年も何度か停電があり（王子製紙の電力使用）その都度ひとり暮らし高齢者を訪ね、電気のチェックを行った。

- ・高齢者への生活支援活動

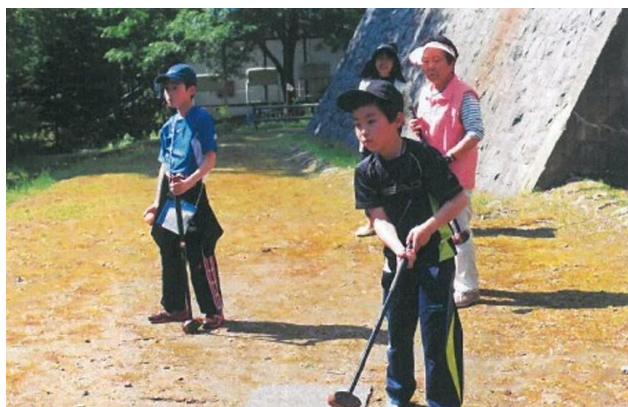
当地は交通が不便であり、更には生活用品及び食料品の販売店がないため、代行して買い物などを行う活動をした。宅配業者への手続き等も手助けさせていただいた。

- ・除排雪の支援

今シーズンは雪が多く除雪出動が数回あった。支笏湖消防団や消防署員の協力を得て安全な状況を作ることができた。（プロパンガス・ストーブ等の点検）

●事業成果

突然の災害に対応するため、常日頃から一人暮らし高齢者などとのコミュニケーションが必要であり、その解決に役立つ活動である。



ゆうまい町内会

福祉委員人数	28 人	世帯数	1015
--------	------	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 35 人)
- 目的 福祉委員活動における情報交換及び共有・資質向上
- 実施事業
 - ・福祉部会
福祉活動の協議・計画・実施・反省を行った。
 - ・福祉委員会
救急カード事業、年間を通してカードの設置、啓蒙を行った。
 - ・福祉通信「YOU・MY・便」（3 回）
16・17・18 号を発行した。
 - ・福祉研修会の実施
各種研修会への参加
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所
- 事業成果
福祉部会などを通じて、情報交換ができています。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4 回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども
福祉委員（対象者数 138 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン
5 月「わいわいふれあい交流会」
室内パークゴルフやゲームで楽しんだ。
7 月「よく効くストレッチ講座」
座ったままでできるストレッチ運動。
9 月「いきいき学芸会」
参加者全員が司会やカラオケ、手品、社交ダンスなどで楽しんだ。
11 月「みんなでカラーリング」
室内でカーリングのようなゲームをして楽しんだ。

7月と11月のサロンは千歳学出前講座を利用し、例年と違う感じで喜んでもらえた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ふれあいサロンが定着し、参加者同士の親睦も深まりシニアの方々が毎回楽しみにしている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間実施

●対象者 全世帯（対象者数 1015 世帯）

●目的 救急カード事業

●実施事業

・救急カード事業

回覧板や福祉だよりで啓発活動を実施。

総会資料と一緒に案内・申し込み用紙を全戸配布した。町内会イベント時にPRした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

町内会のイベント、餅つき大会、防災訓練。新班長会議時にPRし、結果・成果が上がっている。

みどり団地1号棟自治会

福祉委員人数	3人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年間を通して

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数 50 人）

●目的 福祉委員の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉委員の活動・情報交換を行い、共有し確認チェックをした。

・掲示板での啓発

掲示板により福祉委員・民生委員の周知の実施。行事、連絡事項のお知らせをした。

●事業成果

福祉委員及び自治会役員が同じ情報を共有することができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数 50 人）

●目的 支援世帯の把握

●実施事業

・定期巡回実施

定期的に巡回し状況の把握調査をした。

・救急カードの徹底

救急カードの設置確認。記入内容や追加事項をチェックした。

●事業成果

巡回訪問により状況の変化を確認できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 30回

●対象者 全世帯（対象者数 150 人）

●目的 高齢者の孤立を防いで地域との絆を築く

●実施事業

・ふれあいサロン及び茶話会

参加者みんなで調理、会食しました。また、他の自治会の方とも交流した。

●連携・協力機関及び団体

みどり団地2号棟自治会

●事業成果

高齢者の健康状態、心配ごとの把握につながった。他の自治会とも交流できた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通して

●対象者 高齢者・障がい者

(対象者数 50 人)

- 目的 高齢者の孤立を防ぎ、地域との絆を築く

●実施事業

- ・見守り、声かけ

高齢者、障がい者へ日常的に声かけや見守りを行い、情報を把握した。困っている時は作業を手伝いました。

●連携・協力機関及び団体

みどり団地2号棟自治会

●事業成果

高齢者、障がい者の生活向上に貢献することができた。

士のつながりづくりを促進する

●実施事業

- ・町内なつまつり

町内にある高齢者施設ゆうしんかんと合同でなつまつりを開催し、施設入居者と地域住民及び地域住民同士の連帯意識の向上を図った。

●連携・協力機関及び団体

千歳市子ども会育成連合会、シニア・リーダー「つばさ」

●事業成果

地域に住む子どもと施設に入居する高齢者との交流や地域住民同士の連帯意識の向上を図ることにつながっている。

みどり台北町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	388
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 全世帯（対象者数 320 世帯）
- 目的 地域福祉情報及び子育て支援情報を提供することにより、地域のつながりづくりや安心して子育てできる環境整備に努める。

●実施事業

- ・広報紙「みどり台北通信」の発行

年2回広報紙を発行し、子育て支援情報や地域福祉情報を提供した。

●事業成果

地域住民へ地域福祉情報や地域のイベント等をお知らせすることで、住民同士のつながりづくりを促進することにつながっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会員（対象者数 288 世帯）
- 目的 子どもと高齢者及び地域住民同

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会員（対象者数 288 世帯）
- 目的 子どもと高齢者及び地域住民同士のつながりづくりを促進する。

●実施事業

- ・救急カードの配付

全世帯に救急カードを配付し、緊急時に対する備えと地域のつながりづくりを促進した。

●事業成果

カードの配布を通して、地域のつながりづくりや町内会に加入世帯の加入促進につながった。